

第4次豊能町総合計画

第1期実施計画（平成23～25年度） 平成24年度進捗状況報告書

「人とみどりが輝くまち とよの」を目指して

豊能町

平成24年10月

【第1期実施計画 事務事業一覧】

目標	基本施策	施策	実施計画事務事業名	所属	掲載ページ
01	01	01	広報・広聴事務事業	秘書広報課	1
01	01	01	情報公開事務事業	秘書広報課	2
01	01	02	住民参加促進事務事業	住民人権課	3
01	01	03	自治振興事務事業	住民人権課	4
01	01	03	町民祭事務事業	企画政策課	5
01	01	04	企画一般事務事業	企画政策課	6
01	02	01	普通財産管理事務事業	副町長直轄（財政課）	7
01	02	02	財政管理事務事業	総務課（財政課）	8
01	02	02	基金管理事務事業	総務課（財政課）	9
01	02	02	町税収納・徴収事務事業	税務課	10
01	02	03	職員研修事務事業	秘書広報課	11
01	02	04	権限移譲事務事業	企画政策課	12
01	02	04	国崎クリーンセンター運営事務事業	環境課	13
01	02	04	消防庁舎建設実施計画事務事業	消防総務課	14
02	01	01	保育所管理運営事務事業	教育総務課	15
02	01	01	留守家庭児童育成室管理運営事業	教育総務課	16
02	01	01	養育支援・家庭教育支援事務事業	教育支援課	17
02	01	01	留守家庭児童育成室延長保育事業	教育支援課	18
02	01	02	乳幼児医療費助成拡大事務事業	健康保険課	19
02	01	02	妊婦健診公費拡充事務事業	保健センター	20
02	01	02	母子保健事務事業	保健センター	21
02	01	02	通園バス運行事務事業	教育総務課	22
02	01	02	保育料支援事務事業	教育総務課	23
02	01	02	幼稚園預かり保育事業	教育総務課（教育支援課）	24
02	02	01	幼稚園給食食育推進事務事業	教育支援課	25
02	02	02	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事務事業	教育支援課	26
02	02	02	わくわく教室運営事務事業	教育支援課	27
02	02	02	学力向上事務事業	教育支援課	28
02	02	03	教職員人事権移譲事務事業	教育総務課	29
02	02	04	青少年対策事務事業	生涯学習課	30
02	03	01	生涯学習推進事務事業	生涯学習課	31
02	03	01	図書館運営事務事業	図書館	32
02	03	02	ユーベルホール管理運営事務事業	ユーベルホール	33
02	03	02	郷土資料館管理事務事業	生涯学習課	34
02	03	03	社会体育振興事務事業	生涯学習課	35
02	03	03	豊能地域生涯スポーツ振興事務事業	生涯学習課	36
02	04	01	人権啓発推進事務事業	住民人権課	37
02	04	01	ふれあい文化センター運営事務事業	ふれあい文化センター	38
02	04	01	地域交流促進事務事業	ふれあい文化センター	39
02	04	02	男女共同参画事務事業	住民人権課	40
03	01	01	ごみ減量化・再資源化事務事業	環境課	41
03	01	01	ごみ収集ボックス設置事務事業	環境課	42
03	01	02	環境衛生保全対策事務事業	環境課	43
03	01	02	公害対策事務事業	環境課	44
03	02	01	内水面漁業事務事業	農林商工課	45
03	02	01	町民ふれあいの森・初谷川自然の森管理事務事業	農林商工課	46
04	01	01	成人健康増進事務事業	保健センター	47
04	01	01	国民健康保険運営事務事業	健康保険課	48
04	01	02	保健衛生推進事務事業	保健センター	49
04	02	01	介護予防事務事業	豊悠プラザ	50
04	02	01	介護保険家族介護支援特別事務事業	高齢障害福祉課	51
04	02	01	高齢者自立活動支援事務事業	豊悠プラザ	52
04	02	01	老人福祉事務事業	豊悠プラザ	53
04	02	01	包括的支援等事務事業	豊悠プラザ	54
04	02	02	障害者福祉事務事業	高齢障害福祉課	55

目標	基本施策	施策	実施計画事務事業名	所属	掲載ページ
04	02	02	障害者生活支援事務事業	高齢障害福祉課	56
04	02	02	たんぼぼの家運営事務事業	高齢障害福祉課	57
04	03	01	在宅福祉事務事業	豊悠プラザ	58
04	03	01	生活福祉推進事務事業	住民人権課	59
05	01	01	農水緑ふれあい交流事務事業	農林商工課	60
05	01	01	野生鹿・猪等農林業被害防止事務事業	農林商工課	61
05	01	01	生産調整推進対策事務事業	農林商工課	62
05	01	02	森林整備事務事業	農林商工課	63
05	01	02	松くい虫防除事務事業	農林商工課	64
05	02	01	農産物直売所設置事務事業	農林商工課	65
05	02	01	都市交流事務事業	農林商工課	66
05	02	01	商工事務事業	農林商工課	67
05	02	01	観光事務事業	農林商工課	68
05	02	02	特産品普及拡大事務事業	企画政策課（農林商工課）	69
06	01	01	防災対策事務事業	秘書広報課（総務課）	70
06	01	01	土砂災害相互通報システム事務事業	建設課	71
06	01	02	予防接種事務事業	保健センター	72
06	01	02	子宮頸がんワクチン接種事務事業	保健センター	73
06	01	02	肺炎球菌ワクチン接種事務事業	保健センター	74
06	01	02	Hibワクチン接種事務事業	保健センター	75
06	01	03	防犯等事務事業	住民人権課	76
06	01	03	交通安全対策事務事業	住民人権課	77
06	01	03	交通安全施設整備事務事業	建設課	78
06	02	01	市街化調整区域のあり方策定事務事業	建設課	79
06	02	01	公園・緑地・街路樹等管理事務事業	建設課	80
06	02	01	既存民間建築物耐震診断補助事務事業	建設課	81
06	02	02	町道舗装事務事業	建設課	82
06	02	02	町道維持補修事務事業	建設課	83
06	02	02	地域活力基盤創造交付金事務事業	建設課	84
06	02	03	地域公共交通社会実験運行事務事業	企画政策課	85
06	02	04	水道事務事業	営業課	86
06	02	04	公共下水道建設事務事業	営業課	87
06	02	05	行政情報化推進事務事業	秘書広報課（総務課）	88
06	02	05	総合行政ネットワーク事務事業	秘書広報課（総務課）	89

注：所属欄の（ ）内は、実施計画策定時の事業担当所属名です。

所属別事業数

秘書広報課	6
総務課	2
企画政策課	5
税務課	1
副町長直轄	1
住民人権課	9
健康保険課	10
高齢障害福祉課	9
建設課	8
農林商工課	11
環境課	5
教育総務課	6
教育支援課	6
生涯学習課	7
営業課	2
消防総務課	1

合計 89

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課
事務事業名	広報・広聴事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	01	広報広聴・情報公開の充実
大事業名	020102	広報・広聴業務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	広報紙やホームページなどを通し、行政情報やまちづくりに関する情報を積極的に発信するとともに、必要な情報の提供・公開に努めることにより、市政の透明性を高め、住民との情報共有を図り、協働のまちづくりを推進していく。						
成果指標	ホームページへのアクセス件数(年間)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	267,000	267,000	267,000
		実績値		266,000	290,205		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	5,872千円		予算	6,050千円		見込	6,637千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	広報紙で継続的に町の活性化に貢献しているNPO法人団体の活動を紹介し、協働のまちづくりに対する住民の理解に努めた。 「住民主体のまちづくり」をテーマとして、町長との意見交換会を自治会単位で開催し、広く市政に関する住民の意見を聴くとともに、行政と住民との協働のまちづくりについて考える機会の提供に努めた。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	住民と行政との協働のまちづくりや住民主体のまちづくりの必要性について理解を深めるとともに、協働のまちづくりを進める上での課題等を認識することができた。									
今年度の活動計画	協働のまちづくりを進める上においては、町の現状や課題を知ってもらい、一緒に考えてもらう必要があるため、広報紙で町の業務の内容を紹介していく。 よりわかりやすく町の情報を提供できるようホームページの全面改訂（リニューアル）に向けた検討を行う。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課
事務事業名	情報公開事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	01	広報広聴・情報公開の充実
大事業名	020101	情報公開事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	行政活動に対する信頼の確保と住民への説明責任を果たすため、豊能町情報公開条例に基づき、公文書の適正な公開を図る。						
成果指標	異議申立がなかった割合		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	100	100	100
		実績値		100	100		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	101千円	予算	173千円	見込	173千円	
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	・平成23年度情報開示請求件数 28件 (うち開示16件、部分開示7件、不開示0件、不存在4件、取下げ1件)							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	条例の趣旨等に基づき、公文書の適正な公開に努め、行政の透明性の確保を図ることができた。							
今年度の活動計画	引き続き、条例を的確に運用し、公文書の適正な公開に努める。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	住民参加促進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	02	住民参画・協働の仕組みづくり
大事業名	020106	企画一般事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	NPO団体やボランティア団体などに講師を派遣し、課題の解決や組織力の強化を支援するとともに、まちの活性化を図る。また、権限移譲を受けた非営利特定団体に係る設立認証や定款変更認証等事務について、身近に手続きを行う。						
成果指標	NPO団体等への講師派遣人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1	1	1
		実績値		1	1		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	35千円		予算	60千円		見込	60千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
計画期間		○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	本町に事務所を有するNPO団体等を対象に、特定非営利活動促進法（NPO法）の改正施行（平成24年4月）に伴う会計処理に関する研修会を行った。講師は公認会計士。（平成24年2月17日実施。参加者：6団体、7名）									
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	NPO法の改正に伴う会計処理の変更があり、従前の収支計算書が「活動計算書」となる。これは、法人の当期の正味財産の増減原因を示すフローの計算書であり、財務的生存力を把握する上で重要なものの一つとなる。今回の研修会により、改正後の会計処理の概要を学び、今後の会計事務に活かすための準備ができた。									
今年度の活動計画	本町に事務所を有するNPO団体等を対象に、秋頃をめどに連絡会議を持ち、各団体が抱える課題等について意見交換を行う。そこで、全体的な課題把握に努め、今年度の研修テーマを決定し、関係する講師選定を行い、実施する予定。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	自治振興事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	03	コミュニティ活動・交流活動の活性化
大事業名	020111	自治振興事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	各自治会長を行政連絡協議員に委嘱し、町行政と自治会との連絡調整の役割を担っていただくとともに、自治会の主体的活動を支援するための助成を行う。						
成果指標	自治会の会員世帯数（※H22年度から自治会運営補助のあり方を見直し、3ヶ年かけて補助金額の割合を自治会加入世帯割に重点配分とした。）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	世帯	-	7,560	7,600	7,650
		実績値		7,517	7,087		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	2,597千円		予算	2,598千円		見込	2,598千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	行政連絡協議員会議を3回開催した。（4月・11月・2月）また、各課から個別に自治会長に相談等行い、地元自治会の調整等に協力いただいた。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	自治会の事業（総会資料作成・自治会広報誌など）に対する運営補助を行い、自治会運営に寄与できた。									
今年度の活動計画	行政連絡協議員会議の開催（3回予定）。各課への相談における最初の窓口として案内・調整を図る。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課
事務事業名	町民祭事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	03	コミュニティ活動・交流活動の活性化
大事業名	020106	とよのまつり事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	実行委員会による企画運営を行い、行政が実施するイベントの概念を払拭して、新たな試みを実施することにより、町内外への情報発信と交流を図る						
成果指標	町民祭来場者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	約3,000	約3,000	約3,000
		実績値		約3,000	約5,500		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	1,200千円		予算	1,200千円		見込	1,000千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	町と観光協会及び商工会からなる実行委員会を立ち上げ、町民祭からとよのまつりとしての第1歩を踏み出すことが出来た。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	実行委員会形式になったことから、町民祭時にはできなかった参加費用の徴収や、酒類の販売などが可能となり、今後のとよのまつりのあり方への道筋をつけることが出来た 当日の参加者は5,500人に達し大変な賑わいであったが、ふれあい広場で行われた農業祭が午前中で終了し、その後3時までの間池田北高校のダンス部の演技などを催したが、閑散とした雰囲気は否定できず今後の課題が残った。									
今年度の活動計画	実行委員会で行う2回目のとよのまつりとなることから、より住民にとって身近な祭りとなるよう、参加しやすいイベントの企画及び、誰でも知っているような有名ブランドを持つ企業等の参加を依頼し、町外にも大きく発信出来るものにしていく。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課
事務事業名	企画一般事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	01	まちづくりへ参画できる仕組みの充実
施 策	04	エリアマネジメントの推進
大事業名	020106	企画一般事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	住民主導による地域の良好な環境づくり活動であるエリアマネジメントの推進にむけ、地域の実情に応じた住民主導の地区総合計画づくりを支援する。						
成果指標	地区総合計画を作成した地域自治組織数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	地域	-	0	0	1
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	708千円	予算	446千円	見込	446千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	吉川地区（花折街道）活性化のため、吉川自治会を中心に、町・観光協会・池田土木事務所・能勢電鉄の協同ネットワークを作った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	ネットワークを構築したことにより、それぞれが単独で実施していた地域のイベントなどで連携することができるようになった。そのため、能勢電沿線でのチラシ配布・ポスター掲示や、観光協会を通じた広報、大阪府ホームページへの掲載など、相互協力によってイベントPRが効果的に進めるようになり、参加者が500名を超えるイベントを開催できた。						
今年度の活動計画	ネットワークを活用して吉川地区マネジメントのアドバイスや情報提供を行うとともに、エリアマネジメントの考えを地区住民に浸透させるための活動費として吉川自治会が助成を受けた「まちづくり初期活動サポート助成」を効果的に活用できるよう協力していく。また、地域の盛り上がりにあわせて地区総合計画の作成について支援していく。さらに、他地区でのエリアマネジメントについても推進されるよう周知啓発を行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	副町長直轄担当（財政課）
事務事業名	普通財産管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	01	行政運営の推進
大事業名	020105	普通財産管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町有普通財産の適正な管理に努めるとともに、遊休地の貸し付けや売却などにより財産収入を確保する。						
成果指標	町有普通財産の財産収入		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	千円	-	30,000	30,000	30,000
		実績値		1,869	20,845		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	6,647千円	予算	49,669千円	見込	4,669千円	
	うち特定財源	決算	23,296千円	予算	47,758千円	見込	2,758千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	普通財産管理専任の職員を2名配置した。 国の緊急雇用創出事業を活用し、戸知山の草刈等を実施した。 東ときわ台8丁目の町有の遊休地（雑種地2筆、公簿面積合計457㎡）を一般競争入札によって売却した。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	専任職員を配置したことにより、普通財産の管理（草刈等）と戸知山の活用（栗、桜、もみじ、炭焼釜等）が適正迅速に行えた。また、国の緊急雇用創出事業を活用したことにより、戸知山の草刈清掃等が実施できた。 遊休地の売却により18,200千円の収益があった。							
今年度の活動計画	普通財産管理業務を総務課から分離し、副町長直轄担当が所管することにより、より一層の適正管理と活用に努める。また、国の緊急雇用創出事業が終了したため、町直営により戸知山の管理を行う。さらに、遊休地の売却を進める。 なお、吉川財産区繰入金を活用し、旧吉川公民館改修工事を施行する。竣工後は地元自治会に無償譲渡する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	総務課（財政課）
事務事業名	財政管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	02	持続可能な財政運営
大事業名	020103	財政管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町税をはじめとする自主財源が減少し、地方交付税等の依存財源の比率が高まる中、歳出の削減に努め、経常一般財源を有効に活用する。						
成果指標	経常収支比率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	95	94.5	94
		実績値		95.4	91.2		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	761千円	予算	18,610千円	見込	806千円	
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>財政再建計画を実行した。 (H23に新たに実行したものは巡回バスを廃止し、社会実験に切り替え。本庁受付業務委託を廃止し、直営。ふれあい文化センター分館の廃止。清掃事務所と環境課事務所の統合。粗大ごみの有料化。東地区の幼保一元化。西地区の幼稚園統合。吉川公民館の廃止、地元移管。図書館のコンピュータシステム更新に国の交付金を活用。ユーベルホールの自主事業を連携協力事業に再編。)</p>							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	<p>財政再建計画25項目の効果額見込みが当初（H22年3月）は1,956百万円だったが、現在（H24年3月）は2,067百万円となった。特に、経常収支比率に影響する人件費の削減効果額見込みが、当初は1,025百万円だったが、現在は1,346百万円となった。</p>							
今年度の活動計画	<p>財政再建計画を実行する。 (新たに実行するものは豊悠プラザと保健センターの統合に向けた施設整備及び豊悠プラザを貸与する民間事業者の決定。年度末に農村婦人の家を廃止し、新年度から地元移管。シーツスの利用料金見直しにより、指定管理料を削減。) 財務会計システムを更新する（5年間の債務負担行為）。</p>							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	総務課（財政課）
事務事業名	基金管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	02	持続可能な財政運営
大 事 業 名	020101	基金管理事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	突発的な不測の事態に対応することや投資的事業を計画的に行うため、継続的に一定の現金を保つ。						
成 果 指 標	財政調整基金残高 【※H21基準値はH20決算値（H21年5月末現在）、H23実績値はH23決算値（H24年5月末現在）】		単 位	H21基準値	H23	H24	H25
	目標値	百万円	-	1,300	1,200	1,100	
	実績値		1,046	1,752			

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	468,399千円	予算	39,319千円	見込	39,017千円	
	うち特定財源	決算	2,437千円	予算	9千円	見込	9千円	
計画期間			○			○	○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	基金の運用収入と前年度繰越金だけでなく余剰金を積み立てた。各基金からの借入金を計画どおり償還した。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	積立金428,785千円 (内訳＝財政調整基金積立金 228,089千円 退職金等引当基金積立金200,000千円など)							
今年度の活動計画	不用額をきめ細かく減額するなど、歳出を削減し、余剰金を積み立てる。執行予定のない基金で短期国債を購入するなど、基金運用収入を確保する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	税務課
事務事業名	町税収納・徴収事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	02	持続可能な財政運営
大事業名	020202	町税収納・徴収事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	公平な徴収に努め、町財政に寄与するため						
成果指標	現年度分の町税徴収率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	99.3	99.3	99.3
		実績値		99.1	99.1		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	927千円	予算	983千円	見込	983千円
	うち特定財源	決算	415千円	予算	466千円	見込	466千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	未納者に対する地道な督促や滞納者に対する徹底した催告及び財産の差し押さえなどを行い、税の公平性の確保に努めた。						
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	現年度分及び滞納繰越分を合わせた町税全体の徴収率が向上した。						
今年度の活動計画	今年度も、未納者に対する地道な督促や滞納者に対する徹底した催告及び財産の差し押さえなどを行い、納期限内に納税された方との公平性を確保する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課
事務事業名	職員研修事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	03	組織の活性化と職員の育成
大事業名	020101	職員研修事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	職員一人ひとりの資質の向上や能力の開発などに努め、住民志向性や地域住民との協働を実現できるコーディネート力、コスト意識や問題意識・改善意識、倫理観等を備えた人材の育成に努める。						
成果指標	職員研修の受講率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	65	75	80
		実績値		62	58		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	1,903千円		予算	1,978千円		見込	1,978千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	従来の階層別研修や専門実務研修に加え、新たに民間企業派遣研修や業務改善研修（研究会）を実施するとともに、北摂都市研修協議会に参加し、他市町の職員との交流を図った。また、おおさか市町村職員研修研究センターへの派遣研修についても、指名制から希望制に改めた。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	業務上必要な知識・技能の習得や資質・能力の向上を図ることができた。また、業務改善研修（研究会）を通し、職員の自主性を引き出すとともに、職員の意識改革や組織の風土改革を図ることができた。									
今年度の活動計画	階層別研修の実施、おおさか市町村研修研究センターや北摂都市研修協議会の主催する研修への参加 民間企業派遣研修、業務改善研修（研究会）の実施 等									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課
事務事業名	権限移譲事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	04	広域行政の推進
大事業名	020106	権限移譲事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町が自らの責任と判断で、町の実情に合った地域のことは地域で決めるを実践し、より住民の利便性の向上を図る、また、行政サービスの提供に事務の効率性や経費を考え、近隣市町と広域で実施する方がよいと判断されるものはどんどん広域行政の中で実行していく						
成果指標	大阪府からの移譲事務数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	事務	-	75	75	75
		実績値		0	92		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	6,053千円	予算	22,701千円	見込	26,068千円	
	うち特定財源	決算	30,756千円	予算	1,338千円	見込	1,338千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	大阪版地方分権制度によりこれまでに92件の事務の移譲を受けた、その内53件の事務については、池田市、箕面市及び能勢町の2市2町での共同処理又は、池田市及び能勢町との1市2町における分担事務として実施している。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	町単独で移譲を受けた事務については、移譲後の事務処理件数が全くないものが多く、移譲の効果を実証するまで至っていない。共同事務については、事業による効果は実感できない。							
今年度の活動計画	今後も各事務事業を検討し必要のあるものについては積極的に移譲を受ける。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	環境課
事務事業名	国崎クリーンセンター運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	04	広域行政の推進
大事業名	040201	国崎クリーンセンター運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	1市3町(川西市・猪名川町・能勢町・豊能町)の広域連携による施設の適正管理を行うと共に、啓発施設を活用し、リサイクルやごみの減量・資源化等の情報発信を行う。						
成果指標	啓発施設の利用人数(延べ人数)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	3,400	3,500	3,600
		実績値		3,302	2,471		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度				
	事業費総額	決算	229,970千円		予算	265,996千円		見込	263,605千円		
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円		
計画期間		○		○		○					
前年度の活動実績(進捗状況)	ごみ減量化推進員の研修で啓発施設「ゆめほたる」を見学し、ごみ処理の状況・減量化の必要性について学んでいただいた。また、小学校の子供たちの社会見学場所として活用していただいている。										
前年度の活動成果(どのような効果をもたらしたのか)	ごみ減量化推進員に施設見学をいただき、担当地域でのごみの分別の徹底、減量化・再資源化の推進に寄与した。										
今年度の活動計画	ごみ減量化推進員の研修で啓発施設「ゆめほたる」を見学。自治会員への「ゆめほたる」見学を推進いただき、ごみ処理の状況・減量化の必要性について多くの方に学んでいただく。										

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	消防総務課
事務事業名	消防庁舎建設実施計画事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	01	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり
基本施策	02	安定的な行財政運営の推進
施 策	04	広域行政の推進
大事業名	090102	常備消防活動事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	老朽化した消防本部・消防署庁舎の移転新築により消防防災拠点施設の充実強化に努めると共に、箕面市との消防連携による効率的な消防体制を構築し、地域住民の生命・身体・財産をあらゆる災害から守ることを目的とする。						
成果指標	庁舎建設にかかるトラブル件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	0	0	0
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	1,754千円		予算	109,600千円		見込	178,184千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	103,406千円		見込	177,513千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	消防本部庁舎移転新築工事（平成24年度～平成25年度の継続事業）の施工に向け、関係機関との調整を実施した。また、当該工事場所に植栽している樹木の内、移植に適する樹木の仮移植等を実施。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	事業が円滑かつ適切に実施するための事前調整等が順調に実施出来たもの。また、設計業務の完了後において直ちに工事に着手し、効率的な業務遂行が期待できるものである。									
今年度の活動計画	消防本部庁舎移転新築工事に係る設計業務及び土地造成並びに本体工事の着工を予定している。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	保育所管理運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	030202	保育所管理運営事業・子育て支援充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	住民指導による子育て支援体制を構築し、子育て世帯の負担を軽減し支援するとともに子育て支援センターの利用促進を図る。						
成果指標	子育て支援センターの交流事業参加家庭数（延べ）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	家庭	-	700	700	700
		実績値		700	551		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度		
	事業費総額	決算 2,225千円	予算 1,273千円	見込 1,273千円	うち特定財源	決算 1,486千円	予算 500千円
計画期間	○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	地域福祉・子育て支援交付金を活用し、ファミリー・サポート・センター無料利用券交付事業を引き続き行った。 待機児童対策として吉川保育所0歳児保育室と子育て支援センターすきっぷの部屋を交換し、受入人数を増加させた。 老朽化に伴う修理を実施するとともに、乳児の睡眠時の安全を確保するための備品や保護者が子育て支援活動を行ったり相談を受ける場所の整備を図るための備品を購入した。						
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	ファミリー・サポート・センター事業の会員が増加したことにより、ファミリー・サポート・センター無料利用券交付事業の実績が、平成22年度の294,400円から平成23年度は425,350円と大幅に増加し、子育て世帯の負担軽減に役立てることができた。 老朽化している地域子育て支援センターの改修及び備品の整備をすることにより、安全かつ円滑に事業ができるとともに継続的な運営が期待でき子育て支援環境の充実を図ることができた。						
今年度の活動計画	ファミリー・サポート・センター事業の依頼会員数に比べ、援助会員の増は少ないので援助会員の確保が必要であり、そのため、引き続き広報や町ホームページ等で募集するとともに、地区福祉委員会等へも協力を行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	留守家庭児童育成室管理運営事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	030204	留守家庭児童育成室管理運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保護者が労働等のため、放課後、留守家庭になる小学校1学年から3学年の児童を入室させることにより、就労支援や子育て支援の充実を図る。						
成果指標	留守家庭児童育成室の入室児童数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	76	76	76
		実績値		73	70		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	11,686千円	予算	17,961千円	見込	17,500千円
	うち特定財源	決算	9,282千円	予算	8,309千円	見込	8,000千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	東ときわ台留守家庭児童育成室35人、東能勢留守家庭児童育成室30人、光風台留守家庭児童育成室30人、合計95人の入室児童の募集を行った。						
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	東ときわ台留守家庭児童育成室33人、東能勢留守家庭児童育成室21人、光風台留守家庭児童育成室16人、合計70人の入室があり、保護者が安心して働ける環境づくりができた。						
今年度の活動計画	大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用し、留守家庭児童育成室の設置されていない吉川小学校の児童を東ときわ台留守家庭児童育成室に引き続き送迎する、留守家庭児童育成室児童安全送迎事業を行う。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	養育支援・家庭教育支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	100102	人権・地域教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	様々な社会的背景により子どもを取り巻く環境が著しく変化し、家庭の養育についての支援が必要となってきた。豊能町要保護児童対策地域協議会で組織する機関の連携を強化し、児童虐待未然防止のために支援を必要とする家庭への訪問等を行い、家庭の教育力の向上と児童・生徒等の健全育成を目的とする。						
成果指標	子育てアドバイザーの支援訪問家庭数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	家庭	-	60	60	60
		実績値		0	20		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,880千円	予算	3,105千円	見込	3,105千円
	うち特定財源	決算	1,880千円	予算	3,105千円	見込	3,105千円
	計画期間		0		0		0
前年度の活動実績 (進捗状況)	町内2中学校と2小学校に家庭教育支援員を配置し、学校・保護者と連携不登校や集団生活に適應しにくい児童・生徒への支援を行った。養育支援を必要な家庭に対しては、機関連携して家庭訪問、保護者への面接指導等を行った。（養育支援の対応家庭数は、3家庭）						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	家庭教育支援員の配置により、担任教諭とは違う視点で児童・生徒に寄り添い見守りができ、本児童・生徒の学校での居場所が確保できるなどの効果があった。養育支援については、関係機関で連携しケース会議等を行うことで、家庭の生活環境の改善のための具体的な支援を行い、適切な養育環境が保たれるよう働きかけることができた。						
今年度の活動計画	これまでの養育支援・家庭教育支援を継続実施するとともに、要保護児童対策地域協議会実務者のための別冊ガイドライン（H24.6 大阪府福祉部子ども室）に基づき、生後4ヶ月～1才半までの乳幼児のいる家庭に対し家庭訪問等を実施し、子育てに関する情報提供や育児不安の軽減を図る。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	留守家庭児童育成室延長保育事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、ひとを大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	01	子育て支援環境の充実
大事業名	030204	人件費事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保護者の多様な就労形態に対応するため保育所保育時間(延長保育)と同様に午後7時までの延長保育を実施し就労を支援する。						
成果指標	延長保育の利用人数(延べ人数)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	600	1,270	1,270
		実績値		0	1,160		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	540千円		予算	1,417千円		見込	1,417千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	0		0		0				
前年度の活動実績(進捗状況)	平成23年9月より、豊能町留守家庭児童育成室の保育時間を従前の午後6時までを午後7時までへ延長し、保護者の就労支援のため子育て環境の充実を図った。9月～3月までの保育日数は145日、延長保育時間の利用延べ人数は、1,160人（7時までの延長保育申請は、8名。東能勢育成室。東ときわ台育成室）									
前年度の活動成果(どのような効果をもたらしたのか)	留守家庭児童育成室の保育時間延長により、保護者の就労支援の充実が図れた。									
今年度の活動計画	事業の継続実施。 長期休業中など長時間保育となる日については、地域ボランティア等を活用し保育内容を充実させる。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	健康保険課
事務事業名	乳幼児医療費助成拡大事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	030109	乳幼児医療費助成事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	小学一年生から六年生までの子どもに対し、入院の医療費の一部助成を行い、子育て世帯の医療費負担の軽減を図る。						
成果指標	乳幼児医療費の助成件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	136	136	136
		実績値		0	12		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	501千円	予算	5,000千円	見込	5,000千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	医療費助成の周知のため、広報紙・町ホームページに掲載するとともに窓口にチラシの設置、また、校長会に対してチラシ配布の協力依頼を行った。						
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	校長会に協力依頼を行った結果、吉川小学校・東ときわ台小学校・光風台小学校・東能勢小学校の全ての児童、919人に対してチラシの配布ができた。						
今年度の活動計画	新たに医療費助成の対象者になれる全ての児童に対してチラシを配布するとともに広報紙や町ホームページの掲載を継続して行っていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	妊婦健診公費拡充事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	040103	母子保健事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	妊婦健診にかかる経済的負担を軽減するため、健診費用の一部を助成します。(14回)						
成果指標	妊婦健康診査受診票の発行者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	85	85	85
		実績値		85	108		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	4,047千円	予算	4,712千円	見込	4,712千円	
	うち特定財源	決算	1,277千円	予算	2,025千円	見込	2,025千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	母子手帳交付時及び対象者の転入時に妊婦健康診査受診票を108人に発行した。							
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	妊婦健康診査受診票を発行し、妊婦健診受診者数がのべ622人であり、妊婦検診にかかる経済的負担が軽減できた。							
今年度の活動計画	今年度も引き続き母子手帳の発行時に配布し、事業の周知を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	母子保健事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	040103	母子保健事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	妊婦健診や乳幼児健診などを実施し、疾病の早期発見・治療を行います。また、健康相談や健康教室を実施し、育児不安の解消や虐待を防止します。						
成果指標	各種教室の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	250	250	250
		実績値		244	249		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	3,281千円		予算	3,625千円		見込	3,625千円	
	うち特定財源	決算	36千円		予算	320千円		見込	320千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績（進捗状況）	各種乳幼児健診（4か月→12回実施、1歳6か月→4回実施、2歳6か月→4回実施、3歳6か月→4回実施）・乳幼児健康相談（24回実施）・妊婦教室（16回実施）、母子栄養改善事業（2講座計12回）等を実施。									
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	妊婦健診や乳幼児健診などを実施し、疾病の早期発見・治療を行うことができた。また、健康相談や健康教室を実施し、育児不安の解消や虐待を防止できた。									
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施する。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	通園バス運行事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	100401	幼稚園運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	ひかり幼稚園に通園する吉川、ときわ台、東ときわ台、光風台5・6丁目に住居のある園児の通園の利便性を図るとともに安全に運行する。						
成果指標	通園バス（定員51人）の充足率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	90	90	90
		実績値		0	100		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,492千円	予算	2,185千円	見込	2,185千円	
	うち特定財源	決算	1,216千円	予算	1,440千円	見込	1,440千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	東ときわ台5丁目、東ときわ台9丁目、光風台6丁目、吉川中学校前、ときわ台駅前、吉川保育所付近にバス停を設け通園バスを運行した。 また、通園バスへの乗降を保護者に協力いただき、安全性を高めた。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	通園バスの利用が多く平成23年度は51名の利用があり、通園する園児の利便性を図ることができた。 また、保護者に協力をいただいたことにより事故もなく安全に運行することができた。							
今年度の活動計画	バス利用園児の増加に伴い通園バスを1便から2便に増やす。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課
事務事業名	保育料支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
歳入費目	120101 120104 130107 130107	吉川保育所保育料 ふたば保育所保育料 ひかり幼稚園使用料 ふたば幼稚園使用料

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保護者の保育料負担の軽減を図るとともに就学前児童を持つ家庭の転入、若年世帯の多子出産を促す。						
成果指標	保育・教育内容の満足度	単 位	H21基準値	H23	H24	H25	
		目標値	%	-	95	96	96
		実績値		93	100		

4 事務事業の概要

事業の見通し (歳入減額)			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	-8,947千円		予算	-10,943千円		見込	-12,000千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間		○		○		○			
前年度の活動実績 (進捗状況)	同一世帯で就学前児童が2人以上、保育所に入所または幼稚園に入園している場合は、第2子以降の保育料を無料にした。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	幼稚園で17名、保育所で49名、合計67名が保育料の無料の適用を受け、保護者の保育料軽減を図ることができた。									
今年度の活動計画	保育所に入所希望される方が増加することから、保育所児童の受入可能人員の上限を弾力運営できるように定める。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育総務課（教育支援課）
事務事業名	幼稚園預かり保育事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	01	安心して働ける子育て支援の充実
施 策	02	子育て支援サービスの充実
大事業名	100401	人件費事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	仕事と子育ての両立など多様化する保育ニーズに対応し、子育て支援サービスの充実を図る。						
成果指標	預かり保育の利用者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	3,400	3,400	3,400
		実績値		0	4,449		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,680千円	予算	2,510千円	見込	2,510千円	
	うち特定財源	決算	2,680千円	予算	2,510千円	見込	2,510千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	ふたば幼稚園、ひかり幼稚園において、4・5歳児は4月から、3歳児は9月から、保育終了後から午後5時まで預かり保育を実施した。 事業実施にあたっては、大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用した。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	ふたば幼稚園で1,578人、ひかり幼稚園で2,871人、延べ4,449人の預かり保育の利用があり、女性の社会進出や仕事と子育ての両立など保育ニーズの多様化に応えることが出来た。 具体的な保育内容としては、水遊び・ゲーム遊び・絵具遊び・集団遊びなどを行った。							
今年度の活動計画	今年度も大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用し、預かり保育を継続し保育内容の充実を図る。 今年度も昨年同様に水遊びやゲーム遊び・集団遊びなど工夫した保育内容を実施する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	幼稚園給食食育推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	01	幼児教育の推進
大事業名	100401	幼稚園運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	子どもの生活習慣（睡眠・食事）が身につけていなかったり、体力・持続力が低下してきている現状を踏まえ、幼稚園における給食を実施し、子どもたちの育ちのエネルギーの基礎となる「食」の充実を図る。また、食育を通して、全般的な子どもの育ちについての関心が高められるよう保護者に働きかけ、家庭における養育力・教育力の向上を目的とする。						
成果指標	バランスのとれた朝食を食べている園児の割合		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	60	65	70
		実績値		50	55		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度		
	事業費総額	決算 1,137千円	予算 748千円	見込 748千円	うち特定財源	決算 1,137千円	予算 748千円
計画期間	○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	平成23年4月より、幼稚園における給食を実施した。6月より給食配膳ボランティアを兼ねた給食試食会を実施、参加者対象にアンケートを行う。以降、給食配膳ボランティアは、申し込みにより継続して実施した。給食メニュー表とランチルームだよりを家庭に毎月配布しHPにも掲載する。12月には、「食育・給食に関するアンケート」を実施し取組みについての点検・評価を行った。						
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	幼稚園で実施する給食について、当初は偏食の有無や食事の量、味付け、食事にかかる時間など個人差もあり保護者の不安も聞かれたが、給食試食会等を実施することで解消できた。また、保護者に給食配膳のボランティアで協力を得ることができた。保護者からは、同年齢の子どもたちの食事の姿や給食ならではの食材を知ることができたなどの感想が多く寄せられ、子どもの育ちの基礎となる「食」への興味・関心を高めることができた。						
今年度の活動計画	パネル表示や絵本・紙芝居・食育ゲームなどを用いて、バランスのとれた食事やからだの育ちに必要な栄養について知らせ、毎日の食事についての関心を高める。町食育改善グループや食物栄養学科のある大学等と連携し、バランスのとれた朝食を食べている園児の割合、箸の使い方、咀嚼力など取組みの成果を数値化する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	02	学校教育の充実
大 事 業 名	100102	人権・地域教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	学校教育の充実のため、学校・家庭・地域の連携を推進するため、地域住民や保護者による学校支援活動を推進する。						
成果指標	学校教育が充実していると思う割合 （「授業が楽しい、学校へ行くのが楽しい」と保護者が回答した割合を実績値とした）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	59	60	61
		実績値		57.3	84.7		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	939千円	予算	883千円	見込	883千円	
	うち特定財源	決算	584千円	予算	584千円	見込	584千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	学校支援コーディネーターを一校当たり平均37日配置し、学校家庭地域が協働した取組みの推進を行った。小・中学校への学校支援活動は、6小・中学校合わせて（学習支援207日、運動部活動支援125日、環境整備83日、安全見守り活動634日、学校行事への支援46日）合計延べ日数1,095日、平均1校当たり183日の支援活動を行っていただいた。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	学校支援コーディネーターを各小中学校に1名ずつ配置し、学校と地域の方をつなぐ役割を行っていただくことが定着した。学校支援ボランティアは、6小中学校合わせて総合計507人の登録があり、1校当たり平均85人の登録となった。学校と地域の方との協働の取組みがコーディネーターの方のネットワークの力により定着し、活動の内容が、学習支援から環境整備、さらには見守り活動等へ広がり、各学校の特色ある活動となってきている。							
今年度の活動計画	今年度も昨年度同様に学校支援コーディネーターの方を各小中学校に1名ずつ配置し、学校と地域との協働の取組み推進を行っていただく。また各保幼小中学校が、地域や保護者の意見を参考に学校、地域、家庭が連携しよりよい学校づくりが推進できるように、地域や保護者の方を委員として参加していただく協議会の開催を推進している。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	わくわく教室運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	02	学校教育の充実
大事業名	100102	学校教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町立小学校に通学している原則小学校4年生以上の児童のうち、保護者等が子どもを監護できにくい状況にある子どもに放課後の居場所と学習の場を提供し、確かな学力の育成を図る。						
成果指標	わくわく教室への参加児童数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,500	1,600	1,600
		実績値		0	10,682		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	3,936千円	予算	4,670千円	見込	4,670千円	
	うち特定財源	決算	3,936千円	予算	4,670千円	見込	4,670千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	4小学校での開催日数合計は、607日（1校当たり平均152日）開催することができた。活動した指導員は、137人の指導員の方が延べ2,577人の活動を行っていただいた。内容は、各校の工夫により様々であるが、例をあげると、「ペン習字」「パソコン教室」「理科遊び」「バドミントン」「卓球」「絵手紙」「ドッジボール」「科学遊び」「学習教室」など他所多様な活動を放課後や土曜日に行っていた。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	参加児童対象に行ったアンケート結果によると、「楽しかった74%、どちらかといえば楽しかった16%」と肯定的な意見が90%となった。また、3年生まで留守家庭育成室に通っていた児童が4年生以降にわくわく教室に参加し、学校で放課後活動を行った児童の割合は、100%から30%まで幅があるが、居場所の提供となったと考えることができる。児童や保護者からの意見として、もっと時間を延ばして実施してほしい（A校）という意見や「来年も参加しますか」の問いに90%が参加したい（B校）などがあつた。							
今年度の活動計画	今年度も、各小中学校に1名ずつ配置している学校支援コーディネーターに、わくわく教室の推進を依頼し、地域と学校との連携で推進できるようにしている。また、昨年度同様以上の実施できるように、実施開始日を早くした。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	教育支援課
事務事業名	学力向上事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	02	学校教育の充実
大事業名	100102	学校教育充実事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	中学校に教職経験者や大学生などを学習アドバイザーとして、テスト前や放課後に自主教室を開催し、学力向上を図る。また、府事業「使える英語プロジェクト事業」を実施し、授業改善及び家庭学習教材を作成することで、自学自主力の育成を図る。						
成果指標	放課後学習への参加生徒数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	650	700	750
		実績値		634	807		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度		
	事業費総額	決算 2,046千円	予算 2,046千円	見込 2,046千円	うち特定財源	決算 1,598千円	予算 1,598千円
計画期間	○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	両中学校で地域の方の協力のもと放課後に実施した自主学習を推進する「放課後まなび舎」事業では、平成23年度間で平均52日開催し、参加生徒延べ人数807人、指導協力者（教員を含む）延べ人数357人の実績となった。25人の地域の活動アドバイザーの協力のもと実施することができた。また、英語学習充実のため、東能勢小・中学校に教材教具（電子黒板、プロジェクター、指導用CD等）の整備を行った。さらには、外国人の方を小・中学校に配置し、授業のサポートを行っていた。						
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	学校支援コーディネーターを各小中学校に1名ずつ配置し、学校と地域の方をつなぐ役割を行っていただくことが定着し、期待より多くの方の協力をいただくことができた。特に中学校での放課後の自主学習活動推進の取組みが定着し、参加生徒数が前年度比較240人増加した。小学校においては、学校と地域の方との協働の取組みがコーディネーターの方のネットワークの力により定着してきている。						
今年度の活動計画	両中学校で「放課後まなび舎」事業を学生ボランティア等の協力により継続実施し、自主学習力育成の支援を行う。特に定期テスト前に実施し、主体的に学習する支援を行う。また、英語力向上に向け引き続き「使える英語プロジェクト事業」を受け、授業改善の取組みを推進する。今年度は、中間発表会を実施し、これまでの成果について協議をする場を設ける。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所属	教育総務課
事務事業名	教職員人事権移譲事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施策	03	信頼される学校づくり
大事業名	100102	教職員事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目的	平成24年4月から大阪府教育委員会（以下「府教委」という。）より豊能町教育委員会（以下「町教委」という。）へ教職員人事権が移譲されることにより、豊能町への教職員の帰属意識を高め本町の特色ある学校づくりを目指す。						
成果指標	教職員人事権の移譲率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	0	100	100
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	決算		予算		見込	
事業費総額	17千円		410千円		410千円	
うち特定財源	0千円		2,040千円		2,040千円	
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	平成24年4月から府教委より町教委へ教職員人事権が移譲されるに際し、以下の主な活動を行った。平成24年4月からの移譲に向けた手続きを円滑に行うため、豊中市教育委員会内に人事権移譲チームを設け本町から職員1名派遣。大阪府豊能地区教職員人事協議会（以下「協議会」という。）の設置に向けた協議。府教委からの事務引継に伴う確認書の協議。平成25年度の教職員採用選考に向けた協議。臨時任用職員の任用事務手続（任用報告、社会保険等）の協議。平成24年度からの教職員研修の実施方法の協議。など					
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	協議会規約を議会の議決を得て締結するなど、平成24年4月からの人事権移譲に向けた準備を整えることができた。					
今年度の活動計画	平成24年4月より府教委より町教委へ教職員人事権が移譲され、今年度からの主なもの活動は下記のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月より協議会を発足する。 平成24年4月より町教委で小中学校教職員の任免、分限、懲戒を行う。 平成25年度豊能地区3市2町教職員採用選考事務を豊能地区3市2町と府教委の合同で実施する。 平成24年4月より本町教職員の研修について、新たに豊能地区3市2町の合同で実施する。 					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	青少年対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	02	子どもの確かな力を育む教育の充実
施 策	04	青少年の健全育成
大事業名	100502	青少年対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	連合こども会育成会、青少年指導員等と連携し、各種青少年対策事業を実施することにより、青少年の健全育成を図る。						
成果指標	青少年健全育成事業の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	880	890	900
		実績値		870	1,298		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算 4,612千円	予算 2,795千円	見込 3,326千円		
うち特定財源	決算 2,120千円	予算 115千円	見込 115千円			
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>新成人の門出を祝福するために開催した成人式では、少子化が進み対象者は241名でしたが、当日は226名が式典に出席しました。</p> <p>また、青少年の健全育成のため、青少年指導員会が主催した「森と遊ぼう」では、62名の参加者が里山保全活動に取り組みました。</p> <p>さらに、音楽やダンスなど、日頃の活動発表の場の提供として開催したミュージックフェスタでは、250名もの参加があり、ユーベルホールで演技を行いました。</p> <p>町連合こども会では、ソフトボール大会、夏のキャンプ、秋のスポーツ大会、映画会と事業を展開し、延べ760名の参加者がありました。</p>					
前年度の活動成果 どのよつな効果をもたらしたのか	<p>青少年健全育成のための様々な事業を実施したことにより、子ども同士の交流や地域の指導者(大人)との世代間交流が図られ、青少年健全育成につながった。</p> <p>併せて、青少年指導員事業では、里山保全を契機に郷土愛や協同作業の中で仲間との連帯意識を養い、また、文化芸術にふれることで情操教育につながった。</p>					
今年度の活動計画	<p>青少年健全育成については、行政だけでなく、また、継続して行われなければならないものである。よつて、地域や各種団体と連携を図りながら、今後とも青少年の健全育成に努める。</p>					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	生涯学習推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	01	生涯学習の推進
大事業名	100501	生涯学習推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	各種生涯学習事業を開催することにより、生涯を通して学習できる機会を提供する。						
成果指標	自主的な活動の共催・後援名義申請数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	45	45	45
		実績値		41	32		

4 事務事業の概要

事業の見直し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算 1,703千円	予算	2,271千円	見込	2,271千円
	うち特定財源	決算 45千円	予算	30千円	見込	30千円
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	住民の自発的な学習を促進するため、生涯学習に関する情報の提供や講演会を実施しました。1月には、町PTA研究大会と兼ねて、宮本延春氏をお招きし「オール1の落ちこぼれ、教師になる」と題して講演いただきました。また、2月には、大塚貢氏をお招きし「食で変えませんか、健康な心と体に」と題して講演いただきました。どちらの講演会も200名を超える方に参加いただきました。					
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	生涯学習事業は、直ちに効果が表れるものではありませんが、関係団体と連携協力しながら、様々な生涯学習メニューを提供したことで、今後の住民の自発的な生涯学習活動が期待できる。					
今年度の活動計画	住民が学習活動によって得た成果を、まちづくり活動やボランティア活動など様々な地域活動に活かすことができるよう支援していきます。					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	図書館
事務事業名	図書館運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	01	生涯学習の推進
大事業名	100504	図書館運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	図書館サービスの充実を図り、質を高めるとともに全域サービスの充実を図る。また、子育て支援の推進及び高齢利用者サービスの充実を図る。						
成果指標	町民一人あたりの図書貸出冊数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	冊	-	14	14	14
		実績値		14	12		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	17,611千円	予算	9,146千円	見込	1,400千円	
	うち特定財源	決算	12,904千円	予算	58千円	見込	0千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>住民ニーズに合った図書やサービスの提供を行っている。 赤ちゃんと保護者が一緒に絵本を楽しむ「おはなしたまご」、幼児・児童を対象とした「ものがたりのじかん」等を実施している。 また、図書館内において写真や絵画をはじめとする様々な作品を展示してしている。 自主事業 のべ68回、貸出冊数 281,322冊 登録者数 28,572人</p>							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	<p>親子で読書に親しむ機会を提供し、子どもの読書に慣れ親しむ環境を提供できた。 また、各種講座・講演会等を通して、子どもから高齢者まで幅広く読書活動の推進を図ることができた。</p>							
今年度の活動計画	<p>読書に係る様々な活動を通して、今後も生活に根差した情報を発信していく。具体的には、利用者ニーズの把握と情報発信の充実、読書機会の促進及び家庭への啓発、郷土資料館との連携を行いたい。</p>							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	ユーベルホール
事務事業名	ユーベルホール管理運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	02	文化・芸術の振興
大事業名	100505	ユーベルホール管理運営事業 / ユーベルホール連携協力事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町の文化芸術の拠点として、コンサートや講演会を開催し、文化振興を図る。						
成果指標	ユーベルホールの来館者（利用者）数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	20,000	20,000	未定
		実績値		15,116	21,621		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	35,456千円	予算	37,709千円	見込	未定	
	うち特定財源	決算	8,951千円	予算	35,910千円	見込	未定	
計画期間		○		○		未定		
前年度の活動実績 (進捗状況)	教育・文化・芸術の振興に関する協定を締結している「NPO法人フィルハーモニック・ウインズ大阪（オオサカン）」と連携し、定期的にホール・ロビーコンサートを実施した。（18回） また、「まちの音楽家」登録制度を設け、住民によるロビーコンサートを定期的に実施した。（12回） 貸館事業では、231回の貸館を行った。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	オオサカンの連携協力のもと、安価で気軽に楽しめるコンサートを実施したことにより、音楽鑑賞の機会を提供することができた。 また、まちの音楽家によるロビーコンサートは、音楽発表の機会と音楽を通じた住民交流の場を提供することができ、ユーベルホールを拠点とした文化芸術の振興に寄与した。							
今年度の活動計画	ユーベルホールを文化芸術の拠点とし、ユーベル寄席など住民のニーズにあわせた催しや、オオサカンと連携して子どもから大人までが楽しめるホールコンサートなどを実施していく。 併せて、まちの音楽家のロビーコンサートを実施し、音楽を通じた住民交流の場を提供していく。 ただし、築19年を経過し施設が非常に老朽化しており、今後の存続には相当な額での維持補修費用が見込まれるため、その費用の捻出が危惧される。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	郷土資料館管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	02	文化・芸術の振興
大事業名	100506	郷土資料館管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	郷土資料館を拠点に、文化愛護意識の啓発を推進します。また、資料の収集や陳列を工夫し、身近に来館してもらえるよう取り組む。						
成果指標	郷土資料館の来館者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,250	1,300	1,350
		実績値		1,201	775		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	54千円		予算	269千円		見込	269千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
計画期間		○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	現在、資料館で展示している生活文化財や石の文化財（写真）に加え、新たに西方寺（高山）より寄贈いただいた掛軸を展示した。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	昨年度と比較して来館者数は減少したものの、新たな来館者を迎えることができた。									
今年度の活動計画	継続した取り組みとして、資料のデータベース化に取り組む。また、施設の老朽化に伴い、遊休施設を活用した移転改装計画を検討したい。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	社会体育振興事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	03	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
大事業名	100601	社会体育振興事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	生涯にわたりスポーツをより身近なものに感じてもらえるよう、スポーツ推進委員と連携し、各種スポーツイベントを実施し、そのきっかけづくりに寄与する。						
成果指標	スポーツ推進委員会主催のスポーツイベント参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	660	670	680
		実績値		631	366		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,328千円	予算	3,374千円	見込	3,374千円	
	うち特定財源	決算	398千円	予算	900千円	見込	900千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	スポーツ推進委員会が開発したオリジナルのストーンで、誰もが簡単に楽しめる「フロアカーリング」大会は、過去最高の参加者数となり、回を重ねるごとに普及してきている。また、例年実施している「トレッキング」教室や「サイクリング」教室も毎回定員を超える応募者があり、恒例の事業として定着している。 総計5回、参加のべ人数366人							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	各事業の参加者から、イベント終了後には「身体を動かすと気持ちがいい」、「楽しかった」、「これからも何らかの運動を続けていきたい」などの声が聞かれ、スポーツが各人にとって身近なものになるきっかけづくりができた。							
今年度の活動計画	引き続き実施する恒例のスポーツイベントに加え、主に高齢者を対象にしたフロアカーリングの「出前講座」を実施し、一人でも多くの方にフロアカーリングを体験してもらえるよう取り組む。また、イベントへの新たな参加者を見込めるよう、スポーツ推進委員が、それぞれの地域で「スポーツの楽しさ」を伝える活動を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	生涯学習課
事務事業名	豊能地域生涯スポーツ振興事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	03	地域で学ぶ生涯学習環境の充実
施 策	03	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
大事業名	100601	豊能地域生涯スポーツ振興事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	生涯にわたりスポーツをより身近なものに感じてもらえるよう、各種スポーツイベントを実施し、そのきっかけづくりに寄与する。						
成果指標	箕面森町妙見山麓マラソン大会の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,200	1,200	1,200
		実績値		500	1,395		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	684千円	予算	900千円	見込
うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	回を重ねるたびにエントリー数も増え、第4回大会は箕面市から637名、豊能町から272名、遠方からは神奈川県、埼玉県、東京都から総勢1,571名ものエントリーがあり、当日は時折雪が舞う中、1,395名のランナーが「大阪ーしんどい」山間部コースを走った。					
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	走ることは、あらゆるスポーツの基本であり、老若男女を問わずすべての人々が自分のペースで手軽に始められる運動である。 箕面森町妙見山麓マラソン大会は、箕面市と連携し、本町や周辺の地理的特性を活かし「大阪ーしんどい」マラソンとして、回を重ねるごとにランナーに確実に定着している。 本大会は、生涯スポーツ推進や運動のきっかけづくりにとどまらず、インターネットでの参加申込みの手法や地域ボランティアの活躍は、本町の知名度アップや地域づくりにも貢献している。					
今年度の活動計画	第5回目を迎える本大会は、昨年度までの経験を活かし、参加者にとってより満足度の高い大会となるよう箕面市と連携し、大会運営を行っていく。					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	人権啓発推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ 人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	01	人権尊重意識の高揚
大事業名	020701	人権啓発推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町民すべての基本的人権が尊重され、明るく住みよいまちづくりの推進を図る。						
成果指標	人権啓発事業（人権を考える集い・研修会）の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	400	400	400
		実績値		398	380		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	3,906千円		予算	3,874千円		見込	3,874千円	
	うち特定財源	決算	637千円		予算	637千円		見込	637千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績（進捗状況）	町民主体の人権啓発推進団体である人権まちづくり協会との連携による啓発活動を行った。（人権DVD上映，研修会，人権を考える集い，映画会，施設見学会など）その他、生活・人権相談、人権問題審議会の開催（3回）									
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	町民主体の人権啓発推進団体である人権まちづくり協会との連携による啓発活動により、事業の参加者はもとより、まちづくり協会の推進員自体のさらなる人権意識高揚が図れた。									
今年度の活動計画	町民主体の人権啓発推進団体である人権まちづくり協会との連携による啓発活動を行う。（人権講演会，研修会，人権を考える集い，映画会，施設見学会など）その他、生活・人権相談、人権問題審議会の開催（3回予定）									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	ふれあい文化センター
事務事業名	ふれあい文化センター運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	01	人権尊重意識の高揚
大事業名	020702	ふれあい文化センター運営事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、地域の実態に即した有効、適切な事業を展開し、人権問題の解決を図る。						
成果指標	人権問題学習会の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	40	50	60
		実績値		30	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	317千円		予算	480千円		見込	480千円	
	うち特定財源	決算	255千円		予算	360千円		見込	360千円	
計画期間		○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	人権問題学習の啓発資料等を配布し、その意識の高揚に資することができた。									
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	さまざまな人権問題の解決に向けた取り組みを実施し、問題解決の方法を探ることに大いに役立った。									
今年度の活動計画	人権問題学習会を年内に開催する予定で調整中です。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	ふれあい文化センター
事務事業名	地域交流促進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	01	人権尊重意識の高揚
大事業名	020702	地域交流促進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	館施設を活用し、教養文化活動等の事業を行い地域住民等の交流促進を図る。						
成果指標	地域交流のための講座の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	60	70	80
		実績値		50	33		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	670千円	予算	708千円	見込	708千円
	うち特定財源	決算	670千円	予算	706千円	見込	706千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	絵画教室12回延127人 生花教室24回延139人 茶道教室24回延134人 書道教室12回延144人の参加実績があった。						
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	生花・茶道・絵画・書道の各教室を開催し地域住民との地域交流を促進することが出来た。						
今年度の活動計画	今年度の引き続き交流を促進し、当初の目的達成を図る。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	男女共同参画事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	02	地域で育て、地域で育つ 人を大切にするまちづくり
基本施策	04	人権尊重のまちづくりの推進
施 策	02	男女共同参画社会の形成
大事業名	020701	男女共同参画事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	男女の個人の尊厳を重んじ、男性も女性もひとりの人間として能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を図る。						
成果指標	フォーラムやセミナーの参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	270	270	270
		実績値		270	256		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算 659千円	予算 651千円	見込 651千円		
	うち特定財源	決算 510千円	予算 400千円	見込 400千円		
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>○ふれあいフォーラム 開催日：平成24年3月3日。講師：菊地幸夫（弁護士）「出会いの人生から学んだこと」。参加者：210名。男女参画及び退職後の地域活動（生涯学習）の観点から実施。地域社会における居場所があり、人との関わりにより生きがいとなることを学んだ。</p> <p>○男と女のセミナー 開催日：平成23年11月10日・17日・24日。講師：椿本玲子（心理カウンセラー）「コミュニケーションスキル講座」～私もあなたも大切にする自己表現・アサーションを学ぼう～ 参加者：延べ46名。女性と男性の生き方について考えるとともに、自尊感情を高め「自分も大切に、相手も大切にする」ことを学んだ。</p>					
前年度の活動成果 【どのような効果をもたらしたのか】	女性と男性の生き方について考えるとともに、自尊感情を高め「自分も大切に、相手も大切にする」ことを学んだ。また、地域社会における居場所があり、人との関わりにより生きがいとなることを学んだ。					
今年度の活動計画	<p>○ふれあいフォーラム 開催日：平成25年2月23日。講師：ダニエル・カールさん（タレント・山形弁研究家）「がんばっぺ、オラの大好きな日本」。男女参画及び人間の絆・家族の絆（生涯学習）の観点から実施。</p> <p>○男と女のセミナー：未定</p>					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	環境課
事務事業名	ごみ減量化・再資源化事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	03	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり
基本施策	01	豊かな環境の保全
施 策	01	資源循環型社会の構築
大事業名	040201	ごみ減量化・再資源化事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	環境への負担が出来るだけ少ない社会になるよう、ごみの分別収集を徹底して、ごみの資源化を図ると共に、ごみの再生資源回収に努め、ごみの減量化を推進する。						
成果指標	住民一人あたりのごみ排出量(1日あたり)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	g	-	750	750	750
		実績値		780	746		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	98,138千円	予算	101,147千円	見込	102,748千円	
	うち特定財源	決算	41,315千円	予算	34,156千円	見込	34,156千円	
計画期間		0		0		0		
前年度の活動実績 (進捗状況)	町内5つの店舗とごみ減量化推進員のご協力により、食用廃油の臨時回収と能勢電3駅前でのごみ減量化・資源化の啓発を実施。豊能まつりで、生ごみの水切りのPRとアンケートの実施。集団回収への報償金制度の実施。リサイクル掲示板の運用開始。環境特集号を年3回発行しごみ減量化への啓発を実施。小学校・幼稚園・保育所における環境学習の実施。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	住民一人あたりのごみ排出量は目標値を下回った。しかし、23年度から実施された粗大ごみ有料化による排出量減によるところが大きい。							
今年度の活動計画	ごみ減量化推進員様のご協力のもと、減量化への取り組みの啓発を引き続き実施。生ごみの水切りの徹底についても継続して啓発していく。環境特集号も発行していく。集団回収の報償金制度を引き続き実施。地道な啓発活動ではあるが、活動の積み上げることにより更なる減量化・再資源化を目指す。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	環境課
事務事業名	ごみ収集ボックス設置事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	03	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり
基本施策	01	豊かな環境の保全
施 策	01	資源循環型社会の構築
大事業名	040201	ごみ減量化・再資源化事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	老朽化したごみ収集ボックスを更新し、生活環境の保全上支障が生じないよう清潔にする。						
成果指標	ごみ収集ボックスの更新箇所数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	箇所	-	10	10	10
		実績値		10	10		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	683千円		予算	683千円		見込	683千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
計画期間		0		0		0				
前年度の活動実績 (進捗状況)	老朽化したボックスを収集時にチェックを行い、修理が必要なものについては順に行い、修理が不能になった物について更新を行う。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	更新を行うことにより、集積所の環境改善を実施出来た。									
今年度の活動計画	修理等について適正な管理を行い、老朽化したボックスを順に更新を実施する。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	環境課
事務事業名	環境衛生保全対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	03	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり
基本施策	01	豊かな環境の保全
施 策	02	地球温暖化対策等に関する取り組み
大事業名	040105	環境衛生保全対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	豊能町地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガスの削減、省エネルギー、省資源社会を目指す。						
成果指標	温室効果ガスの削減率 (平成17年度比)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	5	5	5
		実績値		5	12.4		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	0千円		予算	15千円		見込	15千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	0		0		0				
前年度の活動実績 (進捗状況)	第2次豊能町地球温暖化対策実行計画に基づき、取り組み状況について各施設の取りまとめを実施し、考察をを加え成果品とする。									
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	温室効果ガス排出状況(平成22年度)について、基準年度(平成17年度)に比べ、△12.4%となった。									
今年度の活動計画	豊能町豊かな環境の保全及び創造に関する行動推進本部部会員に対し、温室効果ガス削減を推進する。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	環境課
事務事業名	公害対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	03	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり
基本施策	01	豊かな環境の保全
施 策	02	地球温暖化対策等に関する取り組み
大事業名	040106	公害対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	大気や水質の汚染状況の把握に努め、必要に応じて工場や事業所への立ち入り検査を実施する。						
成果指標	事業所等から発生する公害を未然防止した割合		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	100	100	100
		実績値		100	100		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	757千円	予算	917千円	見込	933千円
	うち特定財源	決算	370千円	予算	367千円	見込	367千円
	計画期間		0		0		0
前年度の活動実績 (進捗状況)	公共用水域として、余野川水系3箇所、初谷川水系2箇所の水質調査を年4回実施。 農業監視として4地点の水質調査を年3回実施。 特定工場への立ち入り検査を実施。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	特に問題となる水質調査結果、事案は出ていない。						
今年度の活動計画	公共用水域として、余野川水系3箇所、初谷川水系2箇所の水質調査を年4回実施。 農業監視として4地点の水質調査を年3回実施。 特定工場への立ち入り検査実施。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	内水面漁業事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	03	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり
基本施策	02	良好な景観の保全
施 策	01	水と緑の環境保全
大事業名	060301	内水面漁業事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	内水面漁業の振興、事務の適正及び円滑化を図る。						
成果指標	水に親しむイベントの参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	120	150	150
		実績値		70	80		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	67千円	予算	72千円	見込	72千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	アドプトリバー制度により、東能勢漁業組合、余野自治会、学校、こども園の先生や父兄の協力により、余野川の清掃活動（6月、7月は鮎つかみ放流体験事業を実施するにあたり、8月）を行った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	余野川の清掃活動を行うことにより、子供たちが川際まで下りれる様になり、また、川の生き物の生育環境を保全する。						
今年度の活動計画	アドプトリバー制度を活用し、余野川の清掃活動を東能勢漁業組合、余野自治会、学校、こども園の先生や父兄が協働で実施し、みんなが親しめる水辺環境作り及び自然環境保全を行っていきます。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	町民ふれあいの森・初谷川自然の森管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	03	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり
基本施策	02	良好な景観の保全
施 策	01	水と緑の環境保全
大事業名	060201	町民ふれあいの森・初谷川自然の森管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町民ふれあいの森、初谷川自然の森の適正な維持管理						
成果指標	住民等との協働での森の整備回数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	回	-	1	1	1
		実績値		1	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	0千円		予算	118千円		見込	118千円	
	うち特定財源	決算	5千円		予算	4千円		見込	4千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	特になし。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	特になし。									
今年度の活動計画	町民ふれあいの森の新光風台との接点については枝等の刈り払いを行います。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	成人健康増進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支え合いのまちづくり
基本施策	01	生涯健康づくりの推進
施 策	01	健康づくり等の充実
大事業名	040102	成人健康増進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	各種健（検）診を実施し、疾病予防、健康づくりに取り組める環境づくりを進めます。						
成果指標	各種健（検）診の受診者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	8,200	8,200	8,200
		実績値		8,169	4,740		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	50,395千円	予算	58,856千円	見込	59,280千円	
	うち特定財源	決算	5,830千円	予算	6,739千円	見込	6,786千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	基本健診をはじめ、各種がん検診（胃、大腸、子宮、乳、肺）、結核検診、骨粗しょう症検診、成人歯科検診等を実施し、延べ4,740人の受診者であった。なお、平成23年度より子宮・乳がん検診の実施時期が隔年（2年に1回）となっている。がん検診推進事業として大腸・子宮・乳がんの検診については一定年齢による対象者にクーポンを送付し、受診の推進を行った。（受診者460人）また、成人栄養改善事業（1講座計17回）も実施した。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	各種健（検）診を実施し、疾病予防、健康づくり、栄養改善に取り組める環境づくりを進めることができた。							
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	健康保険課
事務事業名	国民健康保険運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支え合いのまちづくり
基本施策	01	生涯健康づくりの推進
施 策	01	健康づくり等の充実
大事業名	010101	国民健康保険事務事業
	010201	国民健康保険税賦課徴収事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	国民健康保険法に基づいた国民健康保険制度の円滑かつ適正な運営を目的とする。						
成果指標	国民健康保険税の収納率(現年度分)		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	96.6	96.6	96.6
		実績値		96.6	96.8		

4 事務事業の概要

事業の見通し	H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	10,091千円	予算	11,844千円	見込
うち特定財源	決算	184千円	予算	347千円	見込	347千円
計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績(進捗状況)	国民健康保険税未収分については、各期納期限後20日以内に督促状(毎月約300通)発付、催告書(829通)送付を行うとともに電話による催告(71件)、臨戸(67件)を行った。また、納付相談は、年8回で吉川支所と役場で開催するなど収納対策の取り組みを行った。					
前年度の活動成果(どのような効果をもたらしたのか)	収納対策の取り組みにより、平成23年度収納率は、現年分で96.86%、対前年度0.48ポイント上昇し、国民健康保険財政は黒字化された。					
今年度の活動計画	督促状や催告書の送付を行うとともに電話による催告、臨戸を実施し、納税者との納付相談に重点を置き、納付相談の件数を増加できるように努力していく。また、国民健康保険のしくみについて、被保険者に理解していただけるように周知啓発を行っていく。					

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	保健衛生推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支え合いのまちづくり
基本施策	01	生涯健康づくりの推進
施 策	02	医療体制の整備
大事業名	040101	保健衛生推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	保健衛生関連団体の取り組みを支援します。また、豊能広域こども急病センター及び広域協定での豊能地域救急医療対策の運営・充実を図ります。						
成果指標	こども急病センターの受診者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	500	500	500
		実績値		498	398		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	1,445千円		予算	2,413千円		見込	2,709千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	保健衛生関連団体（豊能町食生活推進員協議会）への補助金の交付や、豊能広域こども急病センター及び豊能地域救急医療対策事業への負担金を交付した。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	平成23年11月に行われた「とよのまつり」にて健康展を豊能町食生活推進員協議会と協働で保健センターにて実施した。豊能広域こども急病センター（年間受診者数398人）及び広域協定での豊能地域救急医療対策の運営・充実を図ることが出来た。									
今年度の活動計画	豊能町食生活推進員協議会については引き続き協働での取り組みを実施するとともに、減少しつつあるヘルスマイトの養成（増員）について協議会とともに考える。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	介護予防事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	040101	介護予防事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	通所又は訪問による介護予防事業や、介護予防普及啓発事業を実施することにより、高齢者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、いつまでも地域において自立した日常生活をおくることができるよう支援する。						
成果指標	介護予防講座等の参加者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	3,065	3,197	3,315
		実績値		2,802	2,363		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	6,143千円	予算	11,164千円	見込	10,101千円	
	うち特定財源	決算	375千円	予算	712千円	見込	712千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	1次予防事業としては、栄養講座、新発見講座、はつらつヘルス教室、元気あっぴ講座を実施した。また、2次予防事業としては、対象者把握事業により把握した低下機能ごとに事業を実施した。（口腔器については歯科講演会を実施。運動器についてはゆるやか筋力アップ教室を通年で実施。）その他、集団健診受診者で糖尿病が疑われる65歳以上の方を対象に糖尿病予防教室を実施し、認知症予防の自主グループに関してはプログラムの提供などの支援を実施した。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	1次予防事業の実施により、高齢者が要介護・支援状態にならないよう活動され、介護予防につながっていると考える。また、2次予防事業に（継続して）参加されることにより状態の維持又は改善につながっていると考える。							
今年度の活動計画	1次予防事業として、栄養講座、新発見講座、はつらつヘルス教室を実施する。また、2次予防事業は、対象者をより早く把握することにより、多くの方が事業に参加できるよう、基本チェックリストの実施時期を集団健診の時期に合わせ6月とする。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	介護保険家族介護支援特別事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	030102	介護保険家族介護支援特別事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	要介護認定を受けているものの、介護サービスを受けていない者の家族の負担を軽減するために一定の助成を行う。						
成果指標	家族介護支援の助成額		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	千円	-	100	100	100
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	0千円	予算	100千円	見込	100千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	該当者がいないため、助成はしていない。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	該当者がなく成果は上がっていない。						
今年度の活動計画	引き続き、高齢者を介護している家族の身体的・精神的負担の軽減を図る観点から、本事業の広報周知に努めるとともに、該当者があれば、即座に対応していく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	高齢者自立活動支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	030102	高齢者自立活動支援事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	外出が困難な高齢者に対し、閉じこもり予防、健康づくり、生きがいづくりを推進する観点から外出支援事業を実施することにより、利用者の生活圏の拡大と自立した生活への支援を図る。						
成果指標	「おでかけくん」の利用回数（延べ回数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	回	-	2,300	2,400	2,500
		実績値		2,176	2,917		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	6,685千円		予算	6,356千円		見込	6,000千円	
	うち特定財源	決算	1,975千円		予算	2,226千円		見込	2,332千円	
計画期間		○			○			○		
前年度の活動実績（進捗状況）	当事業の継続には、自動車運送事業者等を委員とする「地域公共交通会議」の承認を得る必要があるが、昨年9月開催の同会議において当事業の必要性が認められ、向こう3年間（平成26年9月末日まで）の事業継続が承認された。									
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	当事業は、いまや単独での外出が困難な方にとっては無くてはならない移動手段の一つとなっており、前年度に比べ利用者数・利用回数とも大幅に増加した。									
今年度の活動計画	当事業の事務委託業務及び運行協力業務については本年6月より事業者が変更となったが、事業者変更による利用者への影響を最小限にとどめるため利用者及び関係機関に周知するとともに、事業者には利用回数増となるよう努力を促す。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	老人福祉事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大事業名	030102	老人福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	老人クラブ連合会への活動支援を通じて、高齢者の生きがいつくりと社会参加の促進を図る。						
成果指標	老人クラブの会員数（全14クラブ）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,340	1,355	1,370
		実績値		1,311	1,368		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,119千円	予算	2,652千円	見込	2,152千円	
	うち特定財源	決算	606千円	予算	939千円	見込	606千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	大阪府内の市町村老人クラブ連合会において軒並み会員数の減少傾向が続く中で、豊能町老人クラブ連合会については健康づくり（ウォーキング）、同好会活動、およびロコミによる参加の呼びかけなどが実を結び、着実に会員数が増加している。（平成24年4月時点で1,406人）							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	町老人クラブ連合会においては、ウォーキング実施による健康づくり等の活動が認められ、昨年11月の全国老人クラブ大会において全国表彰を受けた。また、各単位クラブのうち、3クラブ（余野、東ときわ台、光風台）が新規会員の加入を促進した功績が認められ、府老人クラブ連合会長表彰を受けた。							
今年度の活動計画	昭和37年に設立された「豊能町老人クラブ連合会」が50周年を迎えることから、前年度の活動に加え、町老人クラブ連合会が実施する50周年事業（記念誌作成等）を支援する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	包括的支援等事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	01	高齢者福祉の充実
大 事 業 名	040201	包括的支援等事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	総合相談支援事業、権利擁護事業、介護予防ケアマネジメント事業及び包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を実施することにより、高齢者の福祉の向上を図るとともに、被保険者が要介護状態又は要支援状態となった場合においても、いつまでも地域において自立した日常生活をおくることができるよう支援する。						
成果指標	地域包括支援センターでの総合相談件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	300	350	400
		実績値		220	244		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	7,335千円		予算	9,852千円		見込	10,824千円	
	うち特定財源	決算	6,430千円		予算	6,872千円		見込	7,456千円	
計画期間		○			○			○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	認知症支援を中心としたまちづくりを考え、社会福祉協議会と協力体制を作るとともに、地区活動を行う小グループの住民組織を形成するなど包括支援センターを含む中核チームを形成した。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	中核チームのほとんどが地域住民であることから、常に豊能町内の各地域を意識した活動を考えることができるようになった。また、平成22年度は2回だけであった認知症サポーター養成研修についても23年度は4回（98人）の養成を行った。特に中核チームの住民が動きかけたことにより、吉川小学校の教職員に対し認知症サポーター養成研修を行うことができたことは意義が大きい。こうした認知症サポーター養成を行うことにより、地域の団体などとのネットワークが広がりにつつある。									
今年度の活動計画	認知症支援を考える上では認知症サポーター養成が基本と考え、その数を増やしていくために養成研修の講師役となる認知症キャラバンメイトの養成を行い、その後新しいキャラバンメイトが地域で認知症サポーター養成研修を自信を持って行えるように継続した支援を行う。また机上での学びだけではなく、実際に地域に出て具体的な見守り声かけ模擬訓練を町内で行い、訓練を通しての地域住民への啓発、参加者の体験としての学びを目指す。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	障害者福祉事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	02	障害者（児）福祉の充実
大事業名	030101	障害者福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	障害のある人等の生活を地域全体で支えるシステムの実現を目指す。						
成果指標	自立支援給付の利用者数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	920	930	940
		実績値		896	1,129		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	128,298千円	予算	167,019千円	見込	167,019千円	
	うち特定財源	決算	99,509千円	予算	127,393千円	見込	127,393千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績（進捗状況）	居宅介護、重度訪問介護、同行援護といった訪問によるサービスや生活介護、自立訓練就労継続支援といった日中活動によるサービス、また補装具や日常生活用具等の提供などを実施した。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	障害のある人（児）が身近な地域で、その人に応じた自立した生活を送ることができるよう、訪問系・日中活動系サービスや補装具などの各種障害福祉サービス等を適正に提供したことにより、障害のある方の社会参加を促進することができた。							
今年度の活動計画	引き続き、障害のある人（児）に対する訪問系・日中活動系サービスや補装具などの障害福祉サービスの内容拡充と活用を図ることにより、障害のある方の社会参加を支援していく。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	障害者生活支援事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	02	障害者（児）福祉の充実
大事業名	030101	障害者福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	障害者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供等により自立した日常生活が送れるよう支援を行う。						
成果指標	障害者相談の件数（延べ人数）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	90	100	110
		実績値		72	139		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	2,995千円		予算	3,032千円		見込	3,032千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
計画期間		○			○			○		
前年度の活動実績（進捗状況）	精神障害者（児）の方は、地域活動支援センターでの来所相談や電話相談等で、また、身体障害者（児）と知的障害者（児）の方は、豊悠プラザを会場とした出張相談や電話相談等を実施した。									
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	障害者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び権利擁護のために必要な援助を行うことにより、本人や家族が安心して日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援できた。									
今年度の活動計画	引き続き、障害者本人や家族が安心して日常生活等を営むことができるよう、相談業務を継続拡充させることで生活支援の充実を図っていく。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	高齢障害福祉課
事務事業名	たんぽぽの家運営事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	02	安心できる福祉の充実
施 策	02	障害者（児）福祉の充実
大事業名	030101	障害者福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	小規模通所授産施設「たんぽぽの家」について、指定管理者制度を活用し適正な運営を行う。						
成果指標	登録者の人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	21	22	23
		実績値		19	19		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	31,546千円	予算	16,000千円	見込	16,000千円
	うち特定財源	決算	3,937千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	就労支援活動（革製品、タオル、アルミ缶回収、園芸作業、豊悠喫茶コーナー）や社会見学、プール研修、軽スポーツ体験、生活訓練といった活動体験を行った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	就労支援活動については、延べ86名の参加があり、250万円以上の売り上げを得て、従事者に対する工賃を渡すことができた。また、生活介護の面では、自立した日常生活が営めるよう促進することができた。						
今年度の活動計画	引き続き、自立支援活動の拠点とした運営管理を専門機関に委託することで、障害者に就労の機会を提供するとともに、日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援していく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	豊悠プラザ
事務事業名	在宅福祉事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	03	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり
施 策	01	地域福祉の推進
大事業名	030102	在宅福祉事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	見守り事業や緊急通報装置貸与事業などを継続的に実施し、在宅高齢者の精神的な負担の軽減を図る。						
成果指標	緊急通報装置貸与事業の利用者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	65	70	75
		実績値		59	70		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	787千円		予算	1,059千円		見込	1,050千円	
	うち特定財源	決算	248千円		予算	321千円		見込	320千円	
計画期間		○			○			○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	在宅高齢者に対して、身体的・精神的な負担を図ることを目的として、見守り事業・寝たきり老人紙おむつ事業・緊急通報装置事業を実施した。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	見守り事業・緊急通報装置貸与事業は、民生委員・地区福祉委員等との地域住民の見守りや協力が重要であるが、民生委員・地区福祉委員等と連携をはかり、在宅高齢者が安心して住みなれた地域で暮らしていけるように事業を効果的に実施することができた。									
今年度の活動計画	今後、豊能町はますます高齢者が増加していき、より一層民生委員・地区福祉委員等の地域住民の見守りや協力が必要になってくると思われるので、今まで以上に連携をはかり、在宅高齢者が安心して住みなれた地域で、よりよく生活していくための事業を継続して実施していく。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	生活福祉推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	04	元気で暮らせる支えあいのまちづくり
基本施策	03	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり
施 策	01	地域福祉の推進
大事業名	030101	生活福祉推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	福祉関係機関（社会福祉協議会、民生委員協議会等）と連携し、生活弱者の福祉の向上を図ります。						
成果指標	登録ボランティアの人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	760	770	780
		実績値		758	759		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	27,445千円		予算	28,969千円		見込	29,000千円	
	うち特定財源	決算	15,988千円		予算	12,697千円		見込	12,697千円	
計画期間		○			○			○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会とは三者連絡会議を随時行い、高齢者等の見守りについて連携を密にした。また、社会福祉協議会にコミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）を1名配置するほか、町にも非常勤のケースワーカーを1名配置した。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	災害時要援護者登録台帳の更新事務を実施し、見守りを強化したことにより、災害時要援護者登録者数は1,236名→1,625名に増加した。 また、今年度からケースワーカーを配置し、生活困窮者等の様々な相談にも専門的に対応することができ、地域福祉の向上に寄与した。(町への相談の件数：23年度 183件)									
今年度の活動計画	民生委員や福祉委員等との連携を今一層強化し、生活上のあらゆる相談を抱える住民のニーズに対応すべく、極め細やかな地域福祉セーフティーネットの構築を図る。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	農水緑ふれあい交流事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	01	農業の振興
大事業名	060104	農水緑ふれあい交流事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	農業初心者に対して農作業教育を行い、将来の援農ボランティアの育成を行う。地産地消の推進を行う。町内河川に鮎放流を行うことにより住民の交流を図り、食文化の大切さを啓発する。						
成果指標	農水緑ふれあい交流イベントの参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	200	200	200
		実績値		187	114		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	693千円	予算	1,039千円	見込	1,339千円	
	うち特定財源	決算	272千円	予算	520千円	見込	820千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	<p>①ふれあいファーム：高山の圃場約1,500㎡を利用し、一般公募した45名の参加者で水稻や野菜栽培の体験学習を行った。実施日は、土曜日の午前中とし、15回開催した。</p> <p>②農のふるさと協力隊：25人が高山でボランティア活動を月4回行い、遊休農地約3,000㎡の解消に務めた。</p> <p>③鮎放流つかみ取り体験：7月18日に余野川において一般公募した44名の参加者で開催した。また、北摂親愛園を訪問し、同様の体験事業を実施した。</p>							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	<p>①高山において、学習農園を開設し、準農家への足掛りとした。</p> <p>②ボランティア活動を通じて遊休農地の解消に努めた。</p> <p>③鮎放流つかみ取り体験事業を行い、食文化の大切さを啓発した。</p>							
今年度の活動計画	今後、益々増加するであろう遊休農地解消に向けて農空間づくり協議会を設置し対応に努める。また、幼稚園等と協力し鮎放流つかみ取り体験事業を行っていく。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	野生鹿・猪等農林業被害防止事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	01	農業の振興
大事業名	060201	野生鹿・猪等農林業被害防止事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	有害鳥獣からの農林業被害防止のため棲息頭数の適正化を目指した捕獲業務						
成果指標	有害鳥獣の捕獲頭数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	頭	-	180	190	200
		実績値		130	147		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,846千円	予算	3,910千円	見込	3,338千円	
	うち特定財源	決算	363千円	予算	300千円	見込	300千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	地元猟友会の協力により、シカ95頭、イノシシ39頭を捕獲駆除した。また、農家等に捕獲用檻を無償で貸出し、アライグマ11頭、ヌートリア2頭を捕獲駆除した。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	地元猟友会、農家等の協力により捕獲駆除し棲息頭数を減らすことができた。							
今年度の活動計画	地元猟友会の協力により、シカ、イノシシを合わせて150頭の捕獲駆除を行いたい。また、引き続き、捕獲用檻を無償貸出し、農家等の協力により、アライグマ、ヌートリアを合わせて60頭の捕獲駆除を行いたい。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	生産調整推進対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	01	農業の振興
大事業名	060105	生産調整推進対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	生産調整を円滑に実施し米価の安定と戸別所得補償により農家の経営安定を図る。						
成果指標	水稻作付けの生産調整達成率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	100	100	100
		実績値		92	99		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	815千円	予算	1,000千円	見込	1,000千円	
	うち特定財源	決算	815千円	予算	1,000千円	見込	1,000千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	平成23年産米の生産調整達成率は、99.44%であり目標をほぼ達成した。農業者戸別補償制度については、米に対する補償の申請者は24人交付額合計は1,518,000円、転作に対する申請者は12人交付額合計は1,055,430円であり、農業者戸別所得補償交付金への加入者の実人数は29人であった。交付については、農林水産省から直接農業者に支払われた。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	生産調整達成及び農業者戸別補償制度の普及につとめた。							
今年度の活動計画	生産調整達成の維持と農業者戸別補償制度の益々の普及を図る。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	森林整備事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	02	林業の振興
大事業名	060201	森林管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	森林の整備を推進することにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮、資源の充実及び林業生産性の向上を図るため補助金を交付する。						
成果指標	間伐した森林面積		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	ha	-	25	25	25
		実績値		15	15		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	801千円	予算	400千円	見込	1,000千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	500千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	大阪府森林組合が森林所有者から委託を受けて施業を行った造林（0.38ha）、下刈（3.58ha）、枝打（5.71ha）には事業費の15%の補助金を交付、間伐（5.24ha）には事業費の10%の補助金を交付し、森林所有者の負担軽減を行った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	森林の整備をすることにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮が図れた。						
今年度の活動計画	森林法の改正により、平成24年度から新たに施行された森林計画制度に対応し、森林経営計画を作成し計画的に施業するためには国の交付金を活用し、対象となる活動を行う団体に補助金を交付することで施業集約化を図ります。そして、20haの間伐を目標に施業を行った森林所有者に補助金を交付し、負担軽減を行います。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	松くい虫防除事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	01	環境を活かした農林業の振興
施 策	02	林業の振興
大事業名	060201	森林管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	松くい虫による被害木の伐倒駆除等により松くい虫被害の蔓延防止を図る。						
成果指標	松くい虫被害木の処理量		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	m ³	-	40	40	40
		実績値		40	35		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	478千円	予算	988千円	見込	988千円
	うち特定財源	決算	342千円	予算	723千円	見込	723千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	松くい虫被害の蔓延を防ぐため、国の補助事業を活用し、命令防除事業（伐倒駆除）を15m ³ 、奨励防除事業（伐倒駆除）を20m ³ 、大阪府森林組合に業務委託し施行した。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	防除事業により松くい虫被害の蔓延防止が図れた。						
今年度の活動計画	松くい虫被害蔓延防止対策については、長年の取り組みにより、対応すべき被害木が減少したことにより、今年度は命令防除事業（伐倒駆除）を10m ³ 、奨励防除事業（伐倒駆除）を14m ³ 施行していきます。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	農産物直売所設置事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大事業名	060104	農水緑ふれあい交流事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	直売所の設置、運営を行う。						
成果指標	(仮称)産直の会の会員数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	30	60	90
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間	○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	平成22～23年度、公募した12名で直売所設置準備委員会を設置した。準備会議においては、「直売所設置計画」「運営ガイドライン」を作成した。また、先進地調査、レジシステム研修、農家への説明等を行い活動は30数回行った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	参画農業者が2名と少なく設置に至らなかった。						
今年度の活動計画	現在計画はない。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	都市交流事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大事業名	060107	コミュニティセンター管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	様々なイベントにより都市と農村との交流により、高山地区の活性化を図る。						
成果指標	右近の郷でのイベント参加人数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	1,000	1,100	1,200
		実績値		898	3,427		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	5,095千円	予算	3,500千円	見込	3,500千円	
	うち特定財源	決算	3,653千円	予算	500千円	見込	500千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	たけのこ掘り体験、野菜収穫体験、栗拾い体験、さつまいも掘り体験、餅つき体験、椎茸の菌入れ体験を実施し、多数参加した。又、なにわの伝統野菜に認証されている高山真菜まつりを実施し460人が参加した。 高山コミュニティセンターの年間利用数は約3,000人。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	高山自治会等の協力により、たけのこ掘り体験等上記事業を実施することができ、町内外(農村部以外)からの参加により、農村との交流が図れた。							
今年度の活動計画	年間を通じて、(5月)たけのこ掘り体験、(6月)じゃがいも掘り体験、(7月・8月)野菜の収穫体験、(9月)稲刈り体験、(10月)さつまいも掘り体験、(3月)真菜まつりを行なう。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	商工事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大事業名	070101	商工事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町商工業の振興を図るため、商工会等の活動支援及び商工業者の経営基盤の強化を図る。						
成果指標	商工会の会員数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	250	250	250
		実績値		250	230		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	3,680千円		予算	3,688千円		見込	3,688千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	地域商工業の振興、発展に向けた幅広い各種支援活動（経営相談、金融指導、専門相談会等）の事業を実施。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	長年、豊能町主催で実施されてきた秋の町民祭を豊能町、観光協会ならびに商工会による実行委員会を組織し、とよのまつりとして開催。来場者により親しみやすいものにするとともに商工業者が多数出展しイベントを盛り上げる一方、地域の方々に地元の事業所を紹介する機会を提供した。									
今年度の活動計画	国、府、町をはじめ関係機関との連携を保ちながら会員各位の協力のもと各事業を展開する。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	農林商工課
事務事業名	観光事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	01	商工業・観光交流の振興
大 事 業 名	070101	観光事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	民間や他の自治体と協力を図り観光客の増加を図る。						
成果指標	観光の入込客数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	28,000	28,250	28,500
		実績値		27,787	21,102		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,939千円	予算	1,997千円	見込	1,997千円	
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	「とよのの道」をテーマに、フォトコンテストを行なった結果、51名149点の応募があった。新たな観光マップ8千部を作成し、観光案内所をはじめ他市町の観光協会にも配布。							
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	フォトコンテストに町内外から応募があり、「とよのの道（平成23年度課題）」を再発見することができた。ただし観光資源として活用できるかは、これからの検討課題である。また、観光マップを配布することにより豊能町をPRできた。							
今年度の活動計画	豊能地区広域観光推進協議会等による観光あるき（石仏）の実施。 観光ボランティアガイド養成講座実施。 ほたる観賞会実施。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課（農林商工課）
事務事業名	特産品普及拡大事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	05	活力のあるまちづくり
基本施策	02	にぎわいを呼ぶ産業の振興
施 策	02	特産品の開発・販売
大事業名	020106	企画一般事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	豊能町を町外にPRする上で、特産品が必要である、インパクトのある誰もが一度で覚えるような特産品を開発する						
成果指標	特産品を使用した新規商品開発数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	商品	-	—	0	1
		実績値		0			

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		—		0		0
前年度の活動実績 (進捗状況)	亥の子餅を復活させようと試みたができなかった。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	効果なし。						
今年度の活動計画	新たな特産品を模索し、商品化につなげていく。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課（総務課）
事務事業名	防災対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	01	災害対策の推進
大事業名	020110	防災対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	地震や大雨等による自然災害などから住民の生命と財産を守るため、総合的な防災体制の充実を図るとともに、自主防災組織の活動を支援し、地域防災力の向上を図る。						
成果指標	自主防災組織訓練の参加者数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	人	-	150	155	160
		実績値		131	106		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	3,750千円		予算	4,695千円		見込	4,695千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	891千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	豊能地区3市2町合同防災訓練（図上訓練）の実施（参加者：職員約40名）。 自主防災組織を対象とした視察研修、救命講習、消火訓練の実施（自主防災組織5団体、参加者延べ106名）。 衛星携帯電話の整備（6台）。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	自主防災組織との協力・連携により、住民の防災意識を高め、地域防災力の向上を図ることができた。 近隣市町や防災関係機関との合同による防災訓練を通し、災害時における対応の強化を図ることができた。									
今年度の活動計画	豊能地区3市2町合同防災訓練（実動訓練）の実施。 自主防災組織を対象とした視察研修、救命講習、消火訓練、講演会等の実施。 衛星携帯電話の整備。 地域防災計画の見直しに向けた準備。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	土砂災害相互通報システム事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	01	災害対策の推進
大事業名	080101	土砂災害情報相互通報システム運用事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	土砂災害関連情報を住民と町が相互に通報するシステムを構築することにより土砂災害から人命を守る。						
成果指標	通報システムメールサービスの登録件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	0	0	10
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,316千円	予算	1,403千円	見込	1,403千円	
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	24時間体制で情報提供があった。インターネット回線を利用したウェブサイトによりサービスに必要なコンテンツの提供があった。各種コンテンツのメールによる緊急伝達が行えた。							
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	豊能町内の土砂災害関連情報の提供を受け、異常気象時の迅速かつ円滑な警戒、避難体制の確立ができた。							
今年度の活動計画	従来 of 活動内容に加え、通報メールサービスの周知を図る。水防業務用ウェブサイトを携帯端末でも閲覧できるものとする。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	予防接種事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	02	危機対策の推進（伝染病・国民保護等）
大事業名	040102	予防接種事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	予防接種法に基づき、乳幼児並びに高齢者の感染症予防のための予防接種を実施します。						
成果指標	各種予防接種の接種率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	29	31	33
		実績値		28	29		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	22,548千円	予算	28,160千円	見込	27,596千円
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	乳幼児及び児童には、ポリオ（生後月～7歳6ヶ月未満）・BCG（生後4ヶ月）・日本脳炎（生後3歳～13歳未満）・麻しん・風しん（生後1歳～18歳）・三種混合〈百日咳・ジフテリア・破傷風〉（生後3ヶ月～7歳6ヶ月未満）・二種混合〈ジフテリア・破傷風〉（11歳～13歳未満）を、高齢者には、インフルエンザ（65歳以上）について、接種内容によって集団接種、個別接種（27医療機関 池田市内も含む）で接種した。広報にて事業周知を実施。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	予防接種法に基づき、乳幼児並びに高齢者に予防接種を接種し、感染症予防を実施できた。（接種完了者のべ、ポリオ167人、BCG74人、日本脳炎414人、麻しん・風しん582人、三種混合356人、二種混合145人、高齢者インフルエンザ2,816人）						
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施するとともに、さらに事業周知に努める。ポリオの接種方法の変更（平成24年9月～）に伴い混乱のないよう、広報等スムーズな制度移行を実施する。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	子宮頸がんワクチン接種事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	02	危機対策の推進（伝染病・国民保護等）
大事業名	040102	予防接種事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	近年若年層で増加傾向にある子宮頸がんを防ぐため、子宮頸がんワクチン接種にかかる費用の一部を助成し、予防接種機会の拡大に努めます。						
成果指標	ワクチン接種率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	50	50	未定
		実績値		-	44		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	4,048千円	予算	4,529千円	見込	6,173千円	
	うち特定財源	決算	2,024千円	予算	2,265千円	見込	3,086千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	中学1年（13歳相当）～高校1年（16歳相当）の女子を対象として町内の6医療機関にて子宮頸がんワクチン接種を実施した。自己負担金は1回につき4,000円。接種回数は3回。接種勧奨については、町報と同配にて、保健センターだよりとして事業の周知を実施した。（事業費総額及び特定財源は肺炎球菌、ヒブも含む）							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	子宮頸がんワクチン接種にかかる費用の一部を助成し、予防接種機会の拡大に努めた。（接種完了者のべ381人）							
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施するとともに、事業周知についても、検診時等あらゆる機会を通じて制度周知を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	肺炎球菌ワクチン接種事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	02	危機対策の推進（伝染病・国民保護等）
大事業名	040102	予防接種事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	肺炎球菌感染症を防ぐため、肺炎球菌ワクチン接種にかかる費用の一部を助成し、予防接種機会の拡大に努めます。						
成果指標	ワクチン接種率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	50	50	未定
		実績値		-	23		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,308千円	予算	1,174千円	見込	1,600千円	
	うち特定財源	決算	653千円	予算	587千円	見込	800千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	生後2ヶ月～5歳未満の乳幼児を対象として町内の4医療機関にて小児用肺炎球菌ワクチン接種を実施した。自己負担金は1回につき2,500円。接種回数は接種開始年齢によって1回～4回。接種勧奨については、町報と同配にて、保健センターだよりとして事業の周知を実施した。（事業費総額及び特定財源は子宮頸がん、ヒブも含む）							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	小児用肺炎球菌ワクチン接種にかかる費用の一部を助成し、予防接種機会の拡大に努めた。（接種完了者のべ163人）							
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施するとともに、事業周知についても、検診時等あらゆる機会を通じて制度周知を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	保健センター
事務事業名	Hibワクチン接種事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	02	危機対策の推進（伝染病・国民保護等）
大事業名	040102	予防接種事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	インフルエンザ菌b型（Hib）の感染を防ぐため、ワクチン接種にかかる費用の一部を助成し、予防接種機会の拡大に努めます。						
成果指標	ワクチン接種率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	50	未定	未定
		実績値		-	16		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	779千円	予算	1,163千円	見込	1,586千円
	うち特定財源	決算	389千円	予算	581千円	見込	793千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績（進捗状況）	生後2ヶ月～5歳未満の乳幼児を対象として町内の4医療機関にてヒブワクチン接種を実施した。自己負担金1回につき2,000円。接種回数は接種開始年齢によって1回～4回。接種勧奨については、町報と同配にて、保健センターだよりとして事業の周知を実施した。（事業費総額及び特定財源は子宮頸がん、肺炎球菌も含む）						
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	ヒブワクチン接種にかかる費用の一部を助成し、予防接種機会の拡大に努めた。（接種完了者のべ120人）						
今年度の活動計画	今年度も引き続き同事業を実施するとともに、事業周知についても、検診時等あらゆる機会を通じて制度周知を行う。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	防犯等事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	03	防犯・交通安全対策の推進
大事業名	020111	防犯等事務事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	春秋の地域安全運動の実施や、防犯委員会、豊能防犯協議会と連携して犯罪のない明るく住みよい町をめざす。						
成果指標	町内の刑法犯罪認知件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	66	63	60
		実績値		69	85		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	3,502千円		予算	3,691千円		見込	3,691千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	地域安全週間の街頭キャンペーン、防犯委員会委員対象の啓発研修開催、豊能防犯協議会主催の啓発研修の案内等啓発に努めた。 明るく犯罪の起こりにくい環境づくりのため、防犯灯設置費、電気料金に対する補助を実施した。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	空き巣、忍び込みなどの侵入盗の増加など、全体的に件数が増加し、昨年を上回る結果になった。 街頭犯罪件数は20件から10件に減少した。									
今年度の活動計画	例年、防犯委員を対象としてきた研修会を、今年度は参加枠を広げて、HP・たんぼぽメール・自治会や商店でのポスター掲示などで一般住民の参加を呼びかける。 ふれあいのつどい、とよのまつりなどのイベントにおいても、防犯委員会、防犯協議会と連携し、防犯意識の向上を図るための啓発事業を展開する。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	住民人権課
事務事業名	交通安全対策事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	03	防犯・交通安全対策の推進
大事業名	030105	交通安全対策事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	全国交通安全運動実施要綱に基づき、早朝の街頭指導、駅前キャンペーン、迷惑駐車追放合同パトロール等を実施し、町内の交通事故減少をめざす。						
成果指標	町内の交通事故件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	272	269	266
		実績値		275	246		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	574千円		予算	574千円		見込	574千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
計画期間		○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	春秋の全国交通安全運動期間を中心に、安全運転講習会、早朝街頭指導、駅前キャンペーン、迷惑駐車追放合同パトロールなどを、住民と協働で展開した。 また、夏の交通事故防止運動の一環として民生委員、地区福祉委員を対象に高齢者の事故防止についての啓発事業を社会福祉協議会を通じて実施した。									
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	交通事故件数は大阪府域で減少しており、当町においても減少した。 人身事故 22.2%減 物損事故2.7%減									
今年度の活動計画	前年度と同様の取り組みの他、秋のとよのまつり時に警察署の協力を得て自転車シュミレーターを利用した安全教室を開設し、児童生徒を中心とした交通安全啓発を図る。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	交通安全施設整備事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	01	安全安心な暮らしの確保
施 策	03	防犯・交通安全対策の推進
大事業名	080204	交通安全施設整備事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	歩行者及び通行車両の安全を確保するための交通安全施設の改修整備						
成果指標	街路灯の建て替え本数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	本	-	5	5	5
		実績値		9	5		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	2,666千円	予算	2,500千円	見込	2,500千円	
	うち特定財源	決算	2,665千円	予算	0千円	見込	0千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	東ときわ台地内(N=3本)、新光風台地内(N=2本)の老朽化した街路灯を建て替えた。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	老朽化した街路灯を建て替えたことにより未然に事故が防げた。							
今年度の活動計画	町内の街路灯のうち、老朽化している1本の街路灯の建て替え、道路区画線の補修、カーブミラーの補修							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	市街化調整区域のあり方策定事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	01	住み続けたいくなる住環境の整備
大事業名	080502	都市計画管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	市街化調整区域の秩序ある土地利用を誘導するため、地区計画ガイドラインを策定する						
成果指標	ガイドライン策定の進捗率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	100	100	-
		実績値		0	0		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	1,063千円	予算	455千円	見込	0千円	
	うち特定財源	決算	0千円	予算	0千円	見込	0千円	
	計画期間		○		○		—	
前年度の活動実績 (進捗状況)	市街化調整区域の現況整理、対象エリアの抽出、市街化調整区域における土地利用の基本方針の設定等を行った。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	全体構想をふまえつつ、市街化調整区域におけるまちづくりの方針の検討、その実現手法としての地区計画の活用方針を検討した。							
今年度の活動計画	市街化調整区域のあり方ガイドラインを作成し、都市計画審議会に報告する。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	公園・緑地・街路樹等管理事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	01	住み続けたいくなる住環境の整備
大事業名	080503	公園・緑地・街路樹等管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	生活環境に潤いを与えられるよう、公園・緑地・街路樹の剪定等、適正に管理する						
成果指標	公園・緑地・街路樹の剪定回数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	回	-	1	1	1
		実績値		1	1		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	42,054千円	予算	46,178千円	見込	46,178千円	
	うち特定財源	決算	1,148千円	予算	1,148千円	見込	1,148千円	
計画期間		○		○		○		
前年度の活動実績 (進捗状況)	町内の公園、緑地、街路樹の除草・剪定を行った。公園・緑地の除草は、年1回～3回、街路樹の剪定は年1回、さらに支障木の撤去を行った。							
前年度の活動成果 どのような効果をもたらしたのか	町内の公園・緑地、街路樹の適正な管理が行えた。							
今年度の活動計画	町内の公園、緑地、街路樹の除草・剪定を行った。公園・緑地の除草は、年1回～3回、街路樹の剪定は年1回、さらに支障木の撤去を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	既存民間建築物耐震診断補助事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	01	住み続けたいくなる住環境の整備
大事業名	080501	建築基準法管理事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	民間建築物の耐震診断を促進するため、昭和56年5月31日以前に建築された木造一戸建てについて、耐震診断に対する助成を1戸につき450,00円の助成を行う。						
成果指標	民間住宅への耐震診断補助件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	8	5	5
		実績値		5	8		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	360千円	予算	225千円	見込	225千円
	うち特定財源	決算	270千円	予算	168千円	見込	168千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	昭和56年5月31日以前に建築された木造一戸建てのうち8戸の耐震診断に対する助成を行った。						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	助成したすべての民間建築物が地震時に危険であることが判明し、所有者に啓発が行えた。						
今年度の活動計画	昭和56年5月31日以前に建築された木造一戸建てのうち5戸の耐震診断に対する助成を行う。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	町道舗装事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	02	道路の整備改良・維持
大事業名	080202	道路舗装事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町道の不良箇所を舗装し、歩行者および車両の安全確保及び生活環境の向上を図る。						
成果指標	町道の舗装延長		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	m	-	100	100	100
		実績値		555	279		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	5,814千円		予算	9,000千円		見込	9,000千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	町内の道路のうち、老朽化した舗装をL=99m打ち替えた。また、高山地区では、L=180mの舗装を新設した。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	老朽化した舗装を打ち替え、一般交通の円滑化が図れた。									
今年度の活動計画	町道吉川中央線他の舗装の打ち替え。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	町道維持補修事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	02	道路の整備改良・維持
大事業名	080201	道路維持補修事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町道舗装不良箇所を改善し、歩行者および車両の安全確保及び生活環境の向上を図る。						
成果指標	町道の補修箇所数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	箇所	-	8	8	8
		実績値		10	21		

4 事務事業の概要

事業の見通し		H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	35,146千円	予算	41,825千円	見込	42,000千円
	うち特定財源	決算	18,379千円	予算	18,076千円	見込	18,076千円
	計画期間		○		○		○
前年度の活動実績 (進捗状況)	道路パトロールや住民からの通報により道路不具合、要改修箇所の改修を行った。ときわ台地内で、側溝蓋の設置を行った。L=295m						
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	道路における不良箇所の改善が図れ、通行の安全が保てた。						
今年度の活動計画	道路パトロール、住民からの通報などの情報による不良箇所の早期改修、本年度予定している改修箇所の工事を行う。						

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	建設課
事務事業名	地域活力基盤創造交付金事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	02	道路の整備改良・維持
大事業名	080203	道路改良事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	主要な橋梁の不良箇所を改善し、歩行者および車両の安全確保及び生活環境の向上を図る。						
成果指標	橋梁の補修箇所数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	箇所	-	3	1	1
		実績値		2	2		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	8,995千円	予算	44,600千円	見込	84,500千円	
	うち特定財源	決算	8,080千円	予算	42,100千円	見込	78,100千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績 (進捗状況)	川尻、牧地内の2橋の改修を行った。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	通行車両の安全確保が図れた。							
今年度の活動計画	平成24年、平成25年の2カ年で光風台大橋の耐震補強を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	企画政策課
事務事業名	地域公共交通社会実験運行事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	03	交通アクセスの改善
大事業名	020106	地域公共交通社会実験運行事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	町の財政負担を軽減できる、持続可能な新たな公共交通体系を構築する						
成果指標	地域公共交通の見直しによる効果額		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	千円	-	40,694	33,053	未定
		実績値		0	41,227		

4 事務事業の概要

事業の見直し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	13,539千円	予算	19,381千円	見込	未定	
	うち特定財源	決算	8,365千円	予算	0千円	見込	0千円	
計画期間		○		○		未定		
前年度の活動実績 (進捗状況)	東西バス及び東地区デマントタクシーの社会実験を実施し、地域公共交通社会実験評価方法書に定めた利用者数や、利用実態等といった指標となるデータ収集を行っている。							
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	平成22年度に決定した地域公共交通社会実験計画に基づき、平成23年6月末で巡回バスの運行を休止し、路線の縮減及びバスの買い替えを行わないことで費用の縮減を行った。 また、平成23年7月～平成24年3月の東西バス及び東地区デマントタクシーの月報をもとに利用状況のデータを整理し、ホームページで公開したほか、2月に東西バスの利用動向調査を実施した。							
今年度の活動計画	必要なデータ収集を完了し、データの分析及び新たな交通体系の町としての考え方をまとめたうえで、地域公共交通会議及び豊能町交通特別委員会での議論や、パブリックコメントによる意見集約を実施し、「豊能町地域公共交通計画」としてとりまとめた上で、計画に基づく交通施策の実施に向けて所要の準備を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	営業課
事務事業名	水道事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	04	上・下水道の維持・整備
大事業名	-	事業名称なし（豊能町水道事業会計）

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	老朽化した施設の更新や、漏水箇所の早期発見、修理などにより、安全で安定したライフラインの確保をめざす。						
成果指標	適正な維持管理による有収水量の増加		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	92.9	93	93.1
		実績値		92.8	92.7		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	19,340千円		予算	22,000千円		見込	22,000千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
計画期間		○			○			○		
前年度の活動実績（進捗状況）	平成23年度においては、漏水に係る修理工事については、80件を実施した。西地区において漏水調査を実施し、延べ36日間（3日間/月）で31箇所の漏水箇所を発見した。									
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	有収率については、ほぼ現状維持の成果となった。									
今年度の活動計画	今年度においては、漏水に係る修理工事については、80件を予定している。西地区において、随時漏水調査を実施し、漏水箇所の早期発見に努める。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	営業課
事務事業名	公共下水道建設事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	04	上・下水道の維持・整備
大事業名	010201	公共下水道建設事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	老朽化した施設の更新を進めることにより、安心して暮らせる街づくりをめざす。						
成果指標	不明水対策のための管更生率		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	%	-	9.5	9.8	10.1
		実績値		8.8	9.9		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	9,152千円		予算	10,500千円		見込	10,500千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	平成23年度では、老朽化した下水道管のうち、171.7mの管更生を実施した。これにより、管更生を行った総延長は、6,041.2mで全体の9.9%となった。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	安定した都市基盤の整備を推進し寄与した。									
今年度の活動計画	今年度において老朽化した下水管にかかる管更生の延長は、186.4mを予定している。									

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課（総務課）
事務事業名	行政情報化推進事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	05	情報通信基盤の整備
大事業名	020109	行政情報化推進事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	イントラネットを活用し、事務の簡素化やペーパーレス化等、行政事務の効率化を図る。また、町ホームページを活用し、行政サービスの更なる向上を図る。						
成果指標	プリンタートナーの使用数（ペーパーレス化）		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	本	-	100	98	95
		実績値		110	107		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度	
	事業費総額	決算	42,943千円	予算	45,645千円	見込	44,398千円	
	うち特定財源	決算	14,630千円	予算	0千円	見込	0千円	
	計画期間		○		○		○	
前年度の活動実績（進捗状況）	イントラネットの保守管理 イントラネット機器及び光ファイバーケーブルの賃貸借 イントラネットを活用し、業務の効率化や簡素化に努めるとともに、情報の共有化を図った。 また、町ホームページの活用による各種事業における申込手続き等の簡素化を図った。							
前年度の活動成果（どのような効果をもたらしたのか）	厳しい財政状況により職員が削減される中、イントラネットの適正な管理や積極的な活用により、行政事務の効率化に努め、円滑に業務の遂行を図ることができた。 町ホームページを活用し、行政手続きの簡素化に努めるなど、住民サービスの向上を図ることができた。							
今年度の活動計画	限られた職員数の中、引き続き、イントラネットの活用により行政事務の簡素化や合理化を図り、円滑な業務の推進に努める。 行政手続き等の簡素化に向け、町ホームページの活用について検討を行う。							

第4次総合計画 第1期実施計画：進捗管理シート（H24年度当初）

1 事業の属性

所 属	秘書広報課（総務課）
事務事業名	総合行政ネットワーク事務事業

2 施策体系・予算大事業名

目 標	06	安全・安心のまちづくり
基本施策	02	暮らしを支える都市基盤の維持・整備
施 策	05	情報通信基盤の整備
大事業名	020109	総合行政ネットワーク事業

3 事務事業の目的・成果指標

目 的	電子自治体をめざし構築されたLGWANの仕組みを用いて、地方公共団体間における情報の伝達を円滑かつ確実にを行うとともに、公的個人認証サービス等により住民サービスの向上を図る。						
成果指標	公的個人認証サービスの取扱件数		単位	H21基準値	H23	H24	H25
		目標値	件	-	80	90	100
		実績値		71	83		

4 事務事業の概要

事業の見通し			H23年度		H24年度		H25年度			
	事業費総額	決算	1,964千円		予算	1,958千円		見込	2,212千円	
	うち特定財源	決算	0千円		予算	0千円		見込	0千円	
	計画期間	○		○		○				
前年度の活動実績 (進捗状況)	LGWANシステムの適切な維持管理。 新たに83件の公的個人認証サービスの利用申出件数が行われた。									
前年度の活動成果 (どのような効果をもたらしたのか)	地方公共団体間で円滑かつ確実な情報の伝達を行うことができた。 また、公的個人認証サービスについては、受付端末を吉川支所にも設置し、住民の利便性の向上を図った。									
今年度の活動計画	LGWANシステムの適正な管理・運用を図る。 公的個人認証サービスの円滑な提供に努める。									